京城日報

三十日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

第卅九回特別帝國議會

衆議院（二十九日）

▲豫算委員會

午後二時十分午前に引續き開會、山本委員長より政府委員の出席遲延せるに關し報告する處あり高木益太郎氏の鐵道經營其他に關する質問に對し後藤內相及び鐵道院總裁は「現在の鐵道滯貨は五十萬噸なるが當局は運輸の敏活を期す可く應急策を講じつゝあり」都市政策は多年の懸案にて現行市制に就ては幾多研究す可き點ある可し電燈問題即ち東京市三電問題に就ては研究の上適當の所置を執る可し選擧法改正に就き委員會を新設するや或は從來の委員會を繼續するや否や唯今明答する能はず」と答へ次いで

▽松室法相「陪審制度に就ては目下調查中なり」

▽有松法制局長官「陪審制度設定は或時機に達せば解決す可しと思惟す」と夫々答辯を與へ更に船腹調節に關する質問其他に對し

▽田遞相「社外船に對し貸渡貸付を拘束するは多大の考慮を要す電氣事業の競爭より生ずる問題は各地に多きも電氣事業の如き危險を伴ふ事業は獨占たらざる可からず」と答辯し次で仲小路農相との間に林野拂下に關する應酬ありたり次いで秋田寅之助氏（中立）起ち枝光製鐵所、鎭海灣の設備等に關し質問し、各主務大臣の答辯あり

▽田中隆三氏（政友）「地價の査定に不公平あり地租の負擔に輕重甚だし、政府は之を修正する意なきか」

▽勝田藏相「政府にても調査中なり」と答へ次いで望月小太郎氏（憲政）より十數ヶ條の外交質問あり

▽本野外相「支那に於ける日米經濟協力は益々事實に向つて進みつゝあり日支親善の方法は外務大臣に一任せられ度し日支親善は前內閣よりの希望にして現內閣亦希望せり但親善の方法には相違あるやも知れず然し政府の方針として南北何れにも偏せず」と述べ尙ほ質問未了の儘にて午後五時散會せり

▲彈劾案上程

衆議院は三十日午後一時より內閣彈劾案を討議す武富時敏氏劈頭に登壇說明演說を以て政府に突擊し之に對し政友會より鵜澤聰明國民黨より關直彥兩氏反對意見を述べたるが憲政會は更に尾崎行雄、早速整爾、島田三郎、下岡忠治の諸氏を陣頭に立たしめ無所屬より押川方義、今井嘉幸の兩氏出馬す（東京特電）

▲各派交涉會

二十九日午後零時半衆議院議長室にて各派交涉會を開き外交調查委員會設置に關する島田三郎氏の質問に對する寺內首相の書面答辯問題に就き協議し憲政會側は政府の答辯が原則として口頭に依る可きを各派交涉會の申合せとせんと主張せしも政友會國民黨維新會委員の反對あり不調に終りたり（東京特電）

▲政友幹部會

政友會は二十九日午後七時より本部にて幹部會を開き原總裁以下出席、三十日の本會議に日程に上る可き內閣不信任決議案に對し反對の態度に出づる事を申合せたる後豫算查定の方針に就て凝議し大體の意見を定めたるが右は一應政府と交涉したる後實行するに至る可し（東京特電）

▲反對懇親會

現內閣反對各派聯合懇親會は二十九日午後六時より築地精養軒に開催し憲政會、國民黨、記名團、憲政擁護會其他の各派有志三百餘名出席し大竹貫一氏開會の辭を述べ松村勇之進氏を座長に推し高橋秀臣氏は現內閣排斥の決議案を朗讀し滿場異議無く可決終りて尾崎行雄、松平康國、石川安次郎諸氏の現內閣反對演說あり後階上の食堂に移りて來賓箕浦勝人、中島氣崢、上島長久氏等の演說あり九時過散會したり（東京特電）

◎米汽船又復擊沈さる

米國政府に達したる公報に依れば米國汽船ガレナ號は獨逸潜航艇の爲め大西洋に於て擊沈されたり但し死傷者無しと（紐育電報）

◎遠征軍戰鬪開始期

佛蘭西に上陸せる米國軍隊は本年冬期以前に戰線に就き英佛兩軍の連鎖となり戰鬪を開始すべし（巴里電報）

◎諾獨國交危殆に瀕す

諾威と獨逸との國交は目下危殆に瀕しつゝあり（紐育電報）

◎朝鮮兵器廠長內定

朝鮮兵器廠長は現任熱田兵器廠長砲兵中佐近藤兵三郎氏に內定せりと傳へらる（東京電報）

◎辭令傳達式

總督府にては三十日午前九時より總督室に於て過般陞等昇級の御沙汰ありたる久芳事務官以下三十四名の總督府職員並に二名の李王職々員に對し山縣政務總監より夫れ〳〵辭令を傳達する處ありたり

◎一部長會議期

總督府にては近く各道第一部長を召集し第一部長會議を開催す可く目下準備中なり會期は未定なるも多分七月中旬となる可し

◎郵便局長會議

遞信局の主要郵便局長會議は三十日も引續き第四日目を開催せしが同日は土曜に付午後の工事出張所長及び技師會議はなかりき

◎警務統一記念

七月一日は恰も警務機關統一當日に相當するを以て古海警務總長は記念の爲め警務機關各係職員を同日午後六時半京城ホテルに招待せり

◎警部講習會終了

警察官講習所に於て開催中の全道內地人警部（卅名）講習會は愈々七月一日を以て終了追て修業證書は二日同所に於て授與すべしと

◎朝鮮產繭高値

本年は諸物價の高騰と一面米國に於ける絹織物界の順調なるとの爲め生絲の市價は春來高騰を重ね信州上一番格は遂に千三百八十圓てふ高値を示し明治四十年來未曾有の市價を現出するに至れるに搗て內地に於ける繭の出廻高は意想外に少かりし關係より朝鮮產繭は非常の高價を唱へ南鮮地方に於ける今日までの取引價格は石最高九十六圓、平均七十圓內外を示し居れり尤も橫濱市場に於ては定期、現物共數日來幾分軟弱に傾き二十八日の如きは一千三百三十圓に下り一時前途悲觀の姿ありしが二十九日に至るや復た又た市價を盛返して千三百五十五圓に上り朝鮮繭も亦た現在七十掛見當にて取引せられつゝあり本年は育蠶中の氣候頗る適順を得たる爲め各地の蠶況極めて良好なるは既に其の筋の調查發表せる如くなるが實際繭の品質を見るに內地產に比し些の遜色なく製絲業者の歡迎を博し居れり

◎宇佐美長官出張

宇佐美內務部長官は大邱に於ける御大典記念事業たる物產陳列館新築落成式參列の爲め三十日午前八時半發列車にて大邱に出張せり

◎軍參謀長歸任

駐劄軍參謀長白水少將は南鮮地方に於ける檢閱狀況視察中なりしが用務終了せるにより豫定の如く三十日歸任す

◎大和田氏東拓入社

京畿道第二部稅務係主任大和田眞治氏は三十日附東洋拓殖會社參事として入社したるが其の勤務は事業部殖產課兼殖民課なり

◎八氏北行延期

三十日朝北行の豫定なりし米國ナショナル、パーク、オブ、コンマース副頭取ハッチンス氏は都合により一日午後九時四十分南大門驛發急行列車にて北行ハルビンを經て露都に向ふ事となれるが卅日午後は星野鮮銀司事の案內にて纛島方面並に倭城臺高地等を視察せし由

◎農銀當期成績

朝鮮各農工銀行は三十日を以て前半期の決算を締切りたるが當期の成績を聞くに各行共概して比較的多額の預金を抱きゐたるも金融界は朝鮮生產物の價格騰貴輸移入界の活氣に伴ひ相當繁忙を呈し加ふるに高利率の舊農工債券を償還し又低利の債券を發行したる等のため收益狀態は好調を呈し何れも前期同樣の配當可能なるは勿論湊湖農銀の如き若干增配の擧に出でずやとも云ふ

◎銀行前半決算

三十日は朝鮮銀行を初め在鮮各銀行は前半期末の決算締切期に付何れも非常の多忙を來したる模樣なりき

◎露貨騰貴

日滿聯絡貨物引換代金換算率中東淸及び烏蘇里鐵道著の場合は六月二十日以後日貨百圓に付き露貨二百二十五留に低落したりしが六月二十九日より六留騰りて二百十九留に變更されたり

◎中部尙水不足

六月十日來の降雨は順次各地を霑ほし畓田其の他一般作物に對して多大の好影響を齎らせしは勿論にて南鮮一圓及び北鮮地方の如きは雨量殊に潤澤を告げ農家何れも愁眉を開けりされど旱天久しく打ち續ける後とて京畿道を中心とし黃海、江原並に忠南の一部は斯の降雨を以てするも尙ほ水量充分ならず高地方面に在りては挿秧不可能の箇所ある趣きにて同地方民は更に近く降雨を希望し居れりと

◎密陽江增水

二十九日夜半密陽江增水の爲め京釜線密陽砂利約十鎖間の線路搗固砂利流出せりと

◎金剛山中の電報取扱

遞信局にては七月一日より例により淮陽郵便局長安寺分室を金剛山中の長安寺內に設け電報の取扱をなす由但し其の直配達區域は長安寺一圓にして別使配達は之れを取扱はずと

◎連絡船遲着と郵便物

二十九日朝京城著釜山著連絡船遲延し從て三十日京城著列車には內地郵便の接續なし

◎持地長官催宴

持地遞信局長官は三十日正午目下會議のため入京中の主要郵便局長工事出張所長管掌郵便技師を主賓とし會讌列席の各課長等を朝鮮ホテルに招待し午餐會を開きたり

◎仁商議補缺選擧

仁川商業會議所評議員は既報の如く內地人四名の缺員あり朝鮮人側としては崔廣三、朴常潤の二氏當選を辭退し次點者たる李在瑞、張錫佑兩氏も又當選を肯せざる爲め結局內地人四名朝鮮人二名合計六名の補缺選擧を行はざる可らず期日は來月五日と決定せり（仁川）

◎平北桑葉成功

平北道長官よりの報告に依れば同道にては從來畦畔點在の在來桑に桑𧌃蛾族生し桑芽を喰害し其爲め龜城泰川間にては放蠶を餘儀なくせる有樣なりしが地方民は之を寒害と誤解し放任し居りしも其筋にてはまだ桑樹に上らざる以前に於て之を捕殺するの方法を講じ民間にも奬勵實行せる結果本春は其被害を見ざるに至り非常に良成績を見るを得たり而して其害蟲の捕殺高は各郡にて四十九石九升一合の多額に達したる由なり

◎淸州の喜雨

淸州地方は二十四日來多少の降雨ありしが二十六日午後より陰晴定まらざりしが二十七日午前一時前後には沛然たる大雨となり各河川とも多少の增水を見たり二十六日より二十七日午前十時迄の總雨量は淸州四十九ミリ五、鎭川四十九ミリに達し忠州及び永同とも亦相當の降雨ありたる由なれば忠北道管內の畓は全面積の約八割は挿秧をなし得るべく農民は植付に忙殺せられ非常に喜び居れり（淸州）

◎南鮮麥作狀況

南鮮に於ける麥作狀況を聞くに播種後季候一般に適順なりしに歲末に入りて氣溫著しく下向し越へて一二月頃に至りては近年稀有の酷寒に襲はれし爲め寒氣殊の外甚しく幼根は幾分凍傷せりと雖も三月に入りて氣溫上昇せしも例年に比して甚しく遲れ且つ四五月の間は降雨極めて少なく爲めに生育良好ならず一般に悲觀せられ最近米價騰貴の一原因として算へられしも當月に入りて中旬迄に三回降雨あり漸く蘇生せる模樣なるが尙引續き降雨ありしを以て一時豫想せし如き減收を見るが如きことなかるべく殊に昨年は收穫時季に降雨夥多なりしより生じたる腐蝕又は麥穗に發芽せし等の憂なく穗附近に在りては確實に平年作の成績を得たる由なれども南鮮一般よりして見れば八九分作と爲すを至當と云ふを得べし（釜山）

湖西より

五道踏破旅行記者 李光洙

◇公州に到著して旅裝を解く間もなく、直ちに道廳に道長官を訪問致候。通されたるは閑靜なる長官室にて、長官は書類に捺印し居たる手を休めて、嫣然に記者を迎へ候。髮は半白の如何にも親切さうなどつしりした御方にて候。先づ阿部社長より紹介ありし旨を語られ、次いでいと懇切に、種々と記者の質問に明答を與へられ候。

◇忠南は古來兩班の本場にして、名門巨族所在に蟠居し、容易に新文明を容れざる程頑固なる者多く候へ共彼等は元來教育ある上流階級なる丈其れだけ一旦覺醒したる者は、急速且つ徹底的の進步を示す由にて候。維鳩の如き兩班村には、獨立の普通學校を有し、其の他も漸次新政を了解しつゝある由にて候。

◇產業の發達に關しては殊に意を用ひられ、蠶業及び苧布業を最も奬勵せらるゝ由に候。道內は土壤氣候共に蠶業に適するを以つて、十年計畫にて作り得る限り桑を作り、行く〳〵は今日まで有害無益なる錦江の水を利用して、公州に大規模の製絲工場を起さん計畫なる由に候。さすれば大田論山等に、商權を奪はれたる公州も、工業地として新しき生命を得べしと存せられ候。

◇最後に長官は施政の方針として、啓發主義を執らるゝ由に候。朝鮮人は壓へ付くるに限る等と主張する者多けれども、這は決して策の得たるものにあらず、壓へられたる者は、其の壓力減ずると同時に、舊に復すべければなり。十分利害得失を云ひ含めて、內心より政府の指導に從ふ如くなすが啓發の根本義にして、斯くしてのみ始めて徹底的に朝鮮人を敎化し得べしと語られ、包み隱されざる會心の笑を漏され候。或は他道より凡てに於いて遲るゝやも知れず、然れども其の結果に於いては、他道に優らんことを確信すと申され、三本目の敷島に火を點ぜられ候。

◇順次に卓上の鈴を押して、各部長及び主任を呼び、記者の請求に依る說明書又は、統計表を作成する樣命ぜられ候。明日再び參上す可きを約して長官室を辭したるは三時過ぎなりき。夕飯後地方の有志數人を歷訪し、夫々意見を伺はんと積りて候ひしも、發熱甚しく蒸暑き事甚し。匆々不一。（六月廿六日公州にて）

◎朝鮮產〆粕不良

朝鮮產魚肥料殊に釜山より輸出する鰯〆粕は多量の土砂を混入し居れる爲め下之關に於ては檢查官に於て嚴重檢查を行ふこととなりたるを以て當業者の迷惑少なからず因つて下之關物品問屋組合に於ては協議の結果左の決議を爲したる旨釜山商業會議所へ通牒し來れり（釜山）

一、魚肥料は故意を以て土砂及びつぶしを混合せる不正品と見做すものは取扱はざる事

二、釜山發魚肥類は近來殆んど不正品なるを以て當分の間は其品質如何を問はず事務所に屆出で認證を經て取扱ふ事

三、現に所持する釜山輸入の魚肥類は直ちに事務所に屆出で差圖を受くべし

四、前各項に違反したる者は本組合より直ちに當局に屆出で制裁を乞ふ事

◎軍司令官來壤

二十七日鎭南浦を視察したる朝鮮駐劄軍司令官秋山大將は二十八日松井參謀、野津副官を隨へ來壤二十九日步兵第七十七聯隊を檢閱したる後兼二浦に向へり（平壤）

◎安東縣雜信

▲陳列館へ補助 安東商業會議所にては去る四月農商務省に對し商品陳列館補助費交附方請願中の處本年度に於て金三百圓を交附する旨指令ありたり▲領事送迎會 新任安東領事森安三郎氏は三十日午後著任し領事官補田村幸策氏は近日赴任の筈に付七月三日午後七時より安東公會堂に於て官民合同の送迎會を催す由▲安銀支店新築 安東銀行は本年中に新築する計畫なりしも敷地借入れの件に關し滿鐵本社へ交涉中にて未だ決定を見ざるに依り明年に入らざれば起工の運びに至らざる可し▲吉田民政署長 吉田安東民政署長は視察の爲二十七日來安元寶館滯在中の處二十九日午前出發歸任せり▲線路損害 滿鐵土木局小野建築課長外十二名の一行は定期檢閱の爲二十九日朝五臺行より來安同日午後九時三十分發北行せり

◎仁川

▲鯛買上 仁川警察署に於て鯛擬餌獎勵の爲め買上げたる鯛は十六日開始以來二斗八升八合にて此の金額二十四圓四十錢なり▲岡本氏寄附 今回府吏員より商業會議所書記長となりたる岡本保誠氏は小學校備品設備費として金三十圓を寄附したり▲和田氏歸仁 商業會議所書記長を辭し專ら擴寸會社設立事務に鞅掌中なる和田友太郎氏は久しく出張中の處三十日歸仁の筈

◎淸州

▲長官披露宴 張忠北道長官は新任披露宴の爲め二十九日午後六時より道廳構內に內鮮官民三百名を招待し盛大なる園遊會を催すべしと▲靑主計榮轉 淸州憲兵隊附陸軍二等主計靑時助氏は今回山縣下なる軍馬補充部鈞野支部附を命せられたるに依り來月十日頃赴任すべしと因に後任を命せられたる前鏡城憲兵隊附二等主計山崎定德氏は不日著任すべしと▲忠北春蠶共同販賣 忠北道管內春蠶乾繭は丹陽、堤川、忠州の三郡は忠州にて陰城、槐山、鎭川、淸州の四郡は淸州に於て沃川二郡は沃川に永同郡は永同に於て共同販賣に附する筈にて期日は未定なるも來月十四五日頃競爭入札に依りて行ふこととなるべし▲學童の試育繭優良 淸州公立普通學校に於て本年試育したる春蠶は成績甚だ良好にて生產繭三斗五升全部特等繭として淸州郡蠶業組合共同乾繭場に引取られたるにより全校學童の喜び一方ならず爲めに各所より標本繭として希望するもの多く兒童の家庭に於ても甚だしく蠶業思想普及せられたる由なり

◎忠州

▲郡守會議 張忠北道長官は管內各郡守を招集し廿九日道廳會議室に於て郡守會議を開き管內各地方の狀況を聽取し終つて一場の訓示をなしたり▲長官招宴 張忠北道長官の新任披露宴は都合により二十九日午後六時より櫻座に於て擧行せられたり定刻開會張道長官の新任挨拶あり次で鈴木判事各官署員を代表して挨拶を述べ民間代表者町田學校組合管理者鮮人代表者閔泳殷の諸辭あり終つて酒宴に移り數十の美形酒間の斡旋をなし數番の餘興手踊り蓄音器、鼓笙舞踊等あり盛會裡に各員十二分の歡を盡して散會したるは九時過なりき當日の出席約二百五十名に達せり

◎大田

▲富塚聯隊長歸任 管內各分屯地巡閱中なりし大田步兵第七十九聯隊長富塚大佐は七月六日歸任の筈なり▲大田聯隊の檢閱 步兵第七十九聯隊の大田部隊と公州部隊との第二期檢閱は來る七月八九兩日大田に於て擧行の筈なりと

◎光州

▲水道起工式 光州水道起工式は廿四日擧行の筈なりしも水源池及び山林買收に就て所有鮮人の不服ありし爲め意外に日數を要したるが愈々三日にて全部の交涉纏まり賣買契約に調印の事となれば其上直ちに起工式擧行すべく多分來月四五日頃となるべし▲宮木長官巡視 宮木道長官は七月一日光州發長城郡を巡視すべく二日歸任の筈なるが隨行は永松勸業主任、原田金田兩屬官にて之にて本道全部の巡視を終る都合なりと▲本道移民割當 東拓の七回移民は本道に割當てられたるもの五十五戶內羅州郡五戶靈光郡十戶咸平八戶光州四戶潭陽二戶長興一戶寶城一戶莞島二十二戶長城二戶にして移民の原籍は愛媛二十二戶岡山七戶福岡五戶福井四戶を始めとして兵庫岐阜富山香川三重高知佐賀廣島長崎等にて愛媛の廿二戶は全部莞島に其他は各郡に分配置せらるものなりと▲警務部長巡視 麗津警務部長は神宮警部內田署長等を隨へ廿四日出發多島海及び順天、麗水、光陽等の各警察隊を巡視中なるが來月三日歸任の筈▲院長檢事正巡視 目下管內巡視中なる花田法院長秋葉檢事正は何れも來月七日又は九日を以て歸任すべしと

人事消息

▲笠井健三氏（小野田セメント技師工博） 三十日朝退京
▲堀悌三郎氏（三菱社員） 同上
▲安田長次氏（伊藤兵鎭山部員） 三十日朝入京 浦尾へ
▲天野喜之助氏（群山府尹） 二十九日朝歸任
▲後藤瑞巖師（臨濟宗妙心寺派朝鮮布敎監督） 久しく內地巡錫中の處三十日朝歸山

京城大相撲

二日目の景氣

三十日の二日目は土曜日の事であり朝來申し分のない好天氣だつたので櫓太鼓の音ますます冴わて景氣いよいよ引立ち京城の防連その他二三の總見もあつて場內の賑ひさは大したもので西棧敷を除く各棧敷は一杯になつて八分の入りと見られた

◇賑はふた 朝稽古 友の山の大手柄

二日目の稽古場は初日に増して賑はつた、稽古好きの伊勢の濱は誰よりも早くその頑丈な逞ましい身體を現はした、黑瀨川が來る敷島、紅葉川は素より清瀨川、若島などの連中が相踵いでやつて來て

▲盛んに申合ひを始める、元氣の伊勢の濱は阿修羅王の如く猛進して來る精悍紅葉川や、鐵砲王のやうに烈しく打突つてくる清瀨川を相手にして二十番も立て續けに申合せした揚句その外幕下の連中までも手選ばず稽古をつけ終りに黑瀨川や

▲その他に胸を貸すまで二時間餘りといふもの些とも休まず土俵に上つてゐたのは恐ろしく精力を發揮したものである、黑瀨川は胸を痛めたために柱に凭れて皆の稽古を羨めしさうに眺めてゐたが、土州山や敷島は暮りに申し合をしてゐた、十時過ぎに太刀山が現はれると盛んな拍手が起つた

▲土俵に上る前に ずつと見渡すと一行中の最小兵でありながら小氣味のいゝ相撲を取る幕下の友の山を引張り出して棧敷の前で申合を始め最初の一番は態と地響打つて負けてやると友の山調子に乘つて「占めたぞ占めたぞ」と大將最う一丁」と立ち向ひ

▲大黑柱に蚊が 止まつたやうに組みついて行つたが飽くまでも玩弄にしてみる氣の太刀山は充分に組まして置いて抱へ込み傍らにゐた矢筈山に目配すると心得て持つて來た鹽を一掴み肩の傷口になすりつけると流石の友の山飛び上らんばかりに惱いて急で肩口を流してゐたのは

▲大分痛かつた やうだが盛んに打突かつて行つて愛嬌を振蒔いてゐた、太刀山は更に土俵に出て一同の稽古を見る事暫らく五六人に對して稽古をつけてゐた

鬪取衆の晝食 (向つて左より黑瀨川、伊勢の濱、土州山、若島)

▲二日目の取組

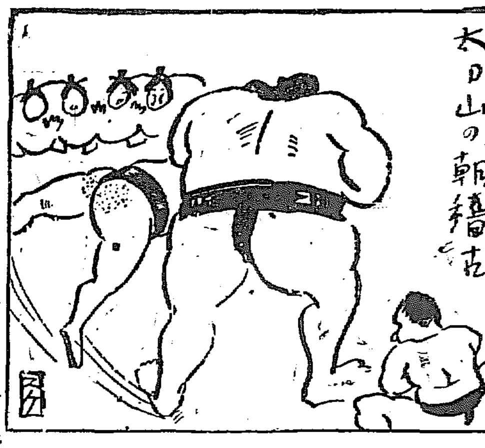
友渡● (太刀嵐 (四國洋 (國見崎●
友の山● (曾根松 (荒玉 (矢筈山●
敷島 (清瀨川 (黑瀨川 (太刀山
若島 (紅葉川 (伊勢濱 (土州山

▲本社お好み番外
土州山 清瀨川
幕下飛付き五人抜き

◉又も水道斷水

卅日午後八時より翌一日午前八時まで

京城府水道係にては卅日午前市民に通告書を發し卅日午後八時より翌一日午前八時迄給水制限を爲す旨の通知を爲し猶ほ晝間の使用水量意外に増大する時は八時以前に斷水し山手高臺方面はそれより更に早く斷水に至るべき旨を附記したるが三十日正午に於ける配水池水量は約六尺にして之れを一時間一尺宛減水するものとすれば六時迄給水し得れど配水池に水量二尺を餘して斷水するを以て午後四時前後には斷水に至るべし猶二日以後も晴天暑氣持續する時は例に由りて制限給水を爲すべしとの事なり



◇珍らしい 朝鮮の鳥

(京城高等普通學校教諭 森爲三氏稿)

❖❖❖ 世界の熱帶地產の鳥 ❖❖❖

◇ハシブトチメドリ 鳴禽類中知目鳥科に屬する小鳥である小鳥の中でも小さい方で嘴の長さが三分足らず翼長一寸六分餘よりない、背面は橄欖褐色で腹面は淡褐色である、雌雄同色で小さな群をなして下草の繁茂せる森林中に棲み種々の植物の種子や蟲類を食とする、其の飛翔力は弱くて低く波狀に進む、巢は杯狀であつて

◇低き樹枝上 又は樹幹の空洞等に造る、卵の色は靑味を帶ぶ英名をヲャイニース、スソラと云つて蒙古支那の北部及び中部等に棲んで居るが内地に居らない、大體知目鳥科の鳥は主に舊世界の熱帶產の鳥で臺灣には十九種類も棲むが内地には一種も居らない、朝鮮にはヅアカハシブトとテウセンハシブトとの二種あり朝鮮特產と云はれて居つたがよく調べて見ると支那に居るハシブトメドリに差異はないからハルテルト氏の說の樣に同一種と見做す方適當と考へて合併した、此のハシブトチメドリの樣に小鳥で

◇色が美しく ないから人が餘り注意しないもの丶中に却つて內地と異なる珍しいものが多いのである、其の主なるものを擧げて見るとシベリアジユリン、コマホ丶ジロ、シロハラホ丶ジロ、テウセンカハラヒハ、ハシナガタケカラス、テウセンキスワリ、アカハラキヌワリ、テウセンサンセウクヒ、テウセンミサヤイ、オジロヒタキ、セジロタヒバリ、コマミジロタヒビリ等である其の中テウセンミサヤイ、テウセンサンセウクヒ、アカハラ及びテウセンキマリ等は朝鮮特產と云はれて居る尚此の他に鷺の類、梟の類、鳥の類、鵰鴨の類、鴨の類等にも珍しいものもあるが其等は他日に讓ることにする

◉選擧違反事件 被告三千人

京都府下の選擧違反事件は木村、永田、片岡三派併合審理を行ふ可く被告三千人罰金十萬圓に上る可し(大阪特電)

◉野良猫人を咬む

二十九日夕刻京城新町岩崎ひさ子(一〇)外二名が新町より大和町に向け通行中突然横合ひの草叢より一匹の野良猫躍り出でて三名の足に咬みつきたる騷ぎに通行者が撲殺したり被害者は何れも最寄りの醫師にて應急手當を受け猫の屍體は三十日試驗室に送り鑑定中

◉有菌鼠五頭發見

四日市に此程來五頭の有菌鼠を發見せり(大阪特電)

◉全北輕鐵開通

洪水の爲め一時不通となりし輕便鐵道は線路の修復を終り三十日の一番列車より運轉を開始せり(全州特電)

◉人夫二名負傷

三十日午前七時頃京城南大門通四丁目漢城銀行支店新築場にて工事請負安部某の雇人夫鮮人二名が作業中足場より墜落し寺洞金興順(二八)は頗る重傷にて應急手當を加へしも遂に絕命し仁義洞金斗一(三〇)は輕傷にて旭町一丁目酒井病院にて應急手當を加へたり

◉一等卒十五名同盟して脫走 潜伏中を發見悉く逮捕さる

久留米野砲兵第二十四聯隊第三中隊一等卒十五名は二十八日夜同盟脫走し水田村に潜伏中を發見悉く逮捕せられ營倉に拘禁取調中なり(大阪特電)

◉動物園の大豹檻より逸出す 射殺せし者に金五百圓の賞金

兵庫縣須磨寺遊園地動物園に飼養中なりし大豹は二十九日午後檻より逸出し警官消防夫村民等搜索中なるも未だ發見せず射殺せし者には五百圓の懸賞を附すと(大阪特電)

◉厄介な祈禱者

怪しき術の祈禱及び三寶刀と稱する刄物を振り廻はして病者を斬し付け惡鬼に責め立てたれば李元丕は毆打突傷等の爲め身體衰弱の末肋膜炎及……院に控訴せり

◉連絡船上些客 六月廿九日

◉菓子製造禁止

浦鹽にて二十四日よりベロシキと云ふ蒸菓子の製造を禁止せり(大阪特電)

◉野球試合

七月一日午前九時より龍山鐵道公園に於て鐵道俱樂部對俱樂部の野球試合あるべしと

◉血を見るまで 淪落女の末路

◇◇◇雷鳥を語る女◇◇◇ (回)

「是からの婦人は良妻賢母主義ばかりでもいけませんわ、雷鳥のやうに極端なのも考へものですけれど、も少しは自覺しなくちや駄目よ……」その晩、彼女は好い機嫌になつてこんなことを話した、何うせ田舍藝者だと初めから輕い反感を抱いてゐた私には、その田舍藝者が新らしい女を口にし、時代思潮を語ることを、彼女を圍繞する周圍の事物と對照して頗る珍らしいと思つた「これは一六といふよりは文學藝者の方が通りが好いんだよ、俳句をつくつたり、短歌を捻くつたり、鬼に角、面白い女さ」友人はその時斯う云つて笑つたが、成程藝者としては面白い女に違ひない『雷鳥を語る女』『文藝に趣味を持つ女』―これは居の厚いことゝ共に五月に對する私の第一印象である、が、然しこの印象は左程深刻なものでなかつた、從つて一月二月と經つ中には、私は彼女の顏すら忘れて了つて居た、この儘忘れて了つたならば、唯普通の社會的現象として見るに過ぎなかつたであらうところが、私はその後再び彼女に會ふ機會を得た、間接に彼女半生のローマンスも聞いた、手紙も貰つた、一身上の相談も受けた、然かも今から考へるとその相談の內容が今度の慘事を招く端をなして居らうとは、神ならぬ身の全く豫期しなかつた處で、唯々不思議な因緣と云ふの外はない、私が彼女の悲慘な最期を聞いて飛上るほど驚いたのも無理ではなからう―

あゝ、結城いさ子!結城いさ子!!私は彼女と私との間につき纏ふ不思議な因緣を語る前に、順序として先づ彼女半生の奇しきローマンスを記さねばならぬ(つゞく)

讀者文藝 (一等に五十錢相當分を呈す)

△俗謠『土產』

○噺ばかりの土產を聽いて京を見た樣な親心(一等) 黃海道載寧 奧山犬花

▲贈る鉢茶こゝろの色香こもる山家の夏土產 鳥致院 T N 生

▲主は菜所で特別任務凱旋土產は巧四藝 新溪 門腮 柴浪

▲旅でかせいだ十年の苦勞思ひ出すぞへ此土產 京城 柳琴

◉取消(記事取消の件)本年六月廿九日發行第三千五百十五號京城日報に『女に二十四箇所の重傷を負はせて劊業自殺を遂ぐ』と題し松下清一が當局事務員にして法律に問はるべき金圓の使込みを爲し且同人が家宅搜索を受けたるが如く掲載有之候處右松下清一は無日依願解雇したるものにして且公金の費消を爲したること及び之れが爲め家宅搜査を受けたるが如きことは決して無之記事は全く事實無根に有之候條直に御取消相成度候 京城郵便局 京城日報社御中

愛讀者優待
東京相撲 木戸割引劵
本劵御持參の方に對し一名限卅錢の木戸を廿錢に割引致候
京城日報社
京城興行中

商況

京城公債直取引

深川在米特電

東京期米特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◉露貨小締と市況 哈爾賓露貨は今なほ鮮銀買ひ二百二十留と引締りしまゝに持合ひ其後一向移動なきに就いては……

越後思惑買を試みたるも反動高見る

非常の打擊

依然輕量品の取引

◉鐵板昂騰す 二十五圓方の昂騰 二十圓乃至二十二圓五十錢方騰貴せり

◉亞鉛板低落 更に軟調 浪板

◉洋紙の前途 何時跳返しも計り難し 補充旁先高見越

京城正米 田舍の地主筋賣物減を唱へ

京城雜穀 的に睨合ひの姿なり 双方見送り

南大門の廻穀

釜山穀物(廿九日)

天氣 くもり 晴れ時々曇り

◉機械輕油強硬

◉麥粉値上げ 五錢十錢宛 各社の態度

◉一割方昂進

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店

◉鹽魚不味と移出 尾以上 一口十二萬 煎子 飛魚

市場零聞 底強く下遊る 手仕舞物買多く逆行相場を 稍縮少す 天候の恢復 賣過ぎ反動

仁川期米 三十日前場(底強し) 大阪天候小雨

生魚市場

納會强硬 錢の最高値現出 七錢を以て無事納會 新甫內氣配 乃至三十錢上鞘の唱 天候と旱魃 天候の如何に依る

仁川米豆取引所 三十日の八月限

生果と青物

放

…は其の貴婦李元氏が臨終病に罹り…しき祈禱の疲れに睡眠を催せるを病人が眠りては祈禱の効驗なしと追ひ廻はるを治さんと同面金明善を…巫女の祖…崔永國等に依賴し李て交々…の擧太鼓の撥などにて眠り…を擲り上げ太鼓を打鳴らして讀付け十日間餘り一睡だも與へず散々…絕息するに至りしが李在俊外三人…加害者は傷害致死罪として海州地方法院にて何れも懲役二年を言渡されしを不服として平壤覆審法…

◎輸出品は何して溜るか
各交戰國の船腹不足と輸送力缺乏

目下我が經濟界に金色の渦が卷いてゐるといふが、其一方にはいろ〳〵の原因から輸出入の上に黑い暗礁のあることを否まれない、最近玩具商組合から當局に對して船腹不足より生ずる窮狀を訴へる所があつたが

◆其の他取引上 著しい打擊を蒙つてゐるものに就て、農商務省の八木商事課長は語る『これが原因にはいろ〳〵あるが、その主なるものは、英國との關係ではその輸入禁止と輸出禁止、米國では船腹不足、露國ではその輸入禁止とシベリア鐵道の輸送力缺乏である、まづ英國の輸入禁止に就て最も影響の多いものは鐵、機械類、羊毛などで、鐵と機械類とは其の都度政府から同國に對して懇請し、僅かに

◆必要の一部を 滿たしてゐるが、羊毛だけは何としてもダメである、これは從來濠洲から輸入してゐたのであるが、既に英國が全部を買ひ占め我國には必要なだけ分與しやうといふのであつたが、未だにそれが實行されない、そこで政府の交渉の下に、南アフリカ、南米アルゼンチン、支那等から取つて間に合してゐるが、まつたく

◆九牛の一毛 といふやうな窮狀にある、またその輸入禁止では從來日本から出してゐた陶磁器、玩具、絹製品、綿製品、帽子(主として東洋パナマ式女帽)ブラシ、メリヤス手袋などが全く杜絶したのであつたが、昨年の末から絹製品、漆器、麥稈眞田アンチモニー製品、綿メリヤス、綿製手袋等が

◆重量の五割を 器械製綿レース、誼と竹製品、鮭の鑵詰等が僅額の五割だけを許可されたので一寸一息吐いた有樣である、そして綿レースだけは交渉の結果最近特に解禁されたから當業者は大喜びであらう米國は船腹の問題で、玩具などは製造者延いては職工が大困りであるが貿易商も大に當惑してゐるその他陶器、家具類、紙製品などの雜貨が多く行くのであるが

◆積込の餘地が なく、隨つて運賃が非常に暴騰したので、それらのやうに、安い運賃でなければ引合ぬものは全く輸出が不可能になつて了ふ、鐵類は英國の輸出禁止の結果として獨り米國が目當であるが、しかも同國も亦英國の軍需品殊に造船に追はれて最近は殆ど來なくなつて了つたから、日本では需用量百萬噸中輸入を仰ぐべき六十萬噸の補充

◆輸入禁止では 果物殊に蜜柑、室內裝飾用陶器、セルロイド、小間物などが大打擊を受けたが、それよりも一層困つた問題は去る三月以來の浦鹽經由の個人貨物輸入禁止である、これは浦鹽からする軍需品の輸送力缺乏から來た結果で、許可されてゐるのは只小包だけに過ぎない、そこで

◆日本品は小包 の外行かぬことになるのであるが、それさへも貨車不足のため制限を受け最近では一日二千個より取扱はなくなつたその外濠州方面も輸出には大した影響はないが、或る種のもの〻輸入には大不便を感じてゐるし、印度も印度爲替の關係上圓滑に運ばぬものもある」云々(東京)

◎四千町歩の水田 毎年洪水に見舞はれる
忠南の大平野

◆忠淸南道扶餘郡內九龜介坪と云ふ處は百濟の舊都扶餘と錦江一名白馬江を隔てた一大平野であつて、湖南線の江景平野に比して敢て遜色はないと謂れて居る、其の面積は確實に知るに由ないけれども五千町歩弱くとも四千町歩はあらうと稱せらる、現に毎年耕作せらるゝ水田さへ二千五六百町に下らない而已ならず其の地質の肥沃なる事は朝鮮中にも敢て其の比を見ないと謂れてある

◆何故に其の地質が好いかと云へば毎年雨期になると錦江の水は氾濫して一面の泥土と化する爲めに肥料分に富んだ泥土を持ち來つて其の儘干潟になる爲め自然肥沃の地となるのであるが、それが爲めに毎年殆んど收穫があるのは五年に一年しかないと謂はれて居る、若し相當の人爲的工事を加へて錦江の氾濫を防遏するに足る丈けの堤塘を拵らへたならばこの平地は凡て立派な水田になる

◆と云ふ事丈けは誰が目にも見ゐて居ると又人々も噂もされるし隨つて內地から來る資本家の如きも是非一度は此所を視察して涎を流すのであるが何を謂つてもあの太き長い錦江を相手の戰爭であるから五萬や十萬の端下金では仕事が出來ぬので、實の田になるとは知り乍ら、おめ〳〵として指を啣へて引き返すものゝみである、現に某氏などは此の事に著目して手を出して見たが資本が續かない

◆遺憾ながら怨を呑んで中途で手を引かねばならぬ始末であつたのを先年總督府でもこの天與の寶庫を蓮葦の茂るに任せて措くのは殘念だとあつて技師をして調査せしめた處、充分立派な水田になる見込みはあるが堤塘の築造や、用水灌漑の工事に少くとも七十萬圓はかけなくちやとの見込みであつたとやら、而かも今に何等具體的の成案となつた譯でもないか誰か水利組合でも設けて眞面目に計畫するとそれ程の經費もかゝらずに立派な六七千町步の水田が出來るとは某有力者の述懷である(大田)

澪の砂

■亡妻の損料 名古屋市中區東川端町村安吉(五七)は東陽町內藤佐次郎(三九)の妻とき(三六)と關係して告訴され懲役一年半となつたがときは安吉に脅迫されて自殺を遂げたので佐次郎は此程獄中の安吉を相手取つて亡妻の損害料五百圓の民事訴訟を起した

■娼婦名簿 千葉縣長生郡茂原警察署管內では嬰兒殺しが多いので之れを防ぐ豫防策として娼婦名簿を作つて各駐在所では毎日巡査が娼婦の調査をやつてゐる

■地方官と學士 道府縣知事を除いた全國二廳三府四十三縣の中で學士の內務部長が三十八人、部長理事官は殆ど法學士が多い、和歌山縣だけは知事も部長も學士ではないとは附人の調査

■指使ひ強盜 愛媛縣宇和島町堀端通生れ前科數犯無職安達定五(三五)は監獄で懇意になつた北宇和郡九島村生の末光久治(三四)に五十錢の案內賃をやつて去る五月十日夜九島村避病院に押入つて組み縊つて番人の松井仁三吉(六九)を刺殺して七圓許り强奪した

■質屋殺死刑 大阪紅梅町質屋殺し犯人福井縣三方郡山東村生れの石丸寅吉(三三)は二十五日同監獄で死刑を執行され十六分間で絕命した

■少女を弄ぶ 福岡縣三潴郡川口村生れの古賀元助(三九)は石取行商をやつて高知縣へ來り御中田に宿した熊本縣菊池郡清泉村片岡常太郎の養女つれ(一四)を實父に逢はしてやると欺して四國中を連れ廻り永い間弄んでゐたことが判り此程松山の裁判所で懲役處分となつた

◎全北地方豪雨
全裡間輕鐵運轉休止す 此儘晴れなば農家萬歲

■猛雨盆を突く 廿四日頃より南西の風斷續して吹き荒み空模樣刻々に變化してニヤ〳〵と蒸し暑く腦病患者ならぬも何となく氣分惡しきを覺へしめたが廿六日夜半からボツ〳〵と降り出した雨は翌朝未明の頃には漸次猛威を加へ來り一時に篠突く許りの勢となつて時々小降となるかと思へば亦も沛然として來る模樣に物凄き許りなり

■裡里市街浸水 斯くて廿七日午前には既に相當の雨量に達せしくなつたが裡里榮町の一部は浸水の厄に罹りしが午後には一旦降雨の晴れたると共に水も減退せしが農家は今一層の降雨を望む程度なりしに夜來又々降出して特に猛烈を極めたるが廿八日に至りて其勢一層加はり遂に

■全裡輕鐵休止 の姿となり自動車の運轉丈は差支なきも輕鐵は終日一回も往復せず人をして陰に昨年の豪雨出水を偲ばしめ或は農作物に大被害あらずやと憂慮せしめつゝあるも二三時間づゝ降やむ爲め餘り大したことはなからんかと胸を撫でしむる狀況なるが若し此儘にて晴れなば夫こそ實に誂へ向にて

■農家は皆萬歲 を唱ふべく數年前の如く石の上でも植付けの出來る狀態にて其上現今の穀價を保つか或は今一層躍進して籾一石九圓以上にも騰つたら今秋以後農家の鼻息は隨分荒いものであらうと想像せらるゝが願くば注文通り一度晴れて貰ひたいものである(大田)

神社とお寺と教會

○日曜學校の花の日祭 七月一日の日曜日午前九時から本町南倉町京城組合基督教會日曜學校で例年の通り宮川牧師司會の下に花の祭を催し當日を守ります當日は會堂には美しい花を盛り可愛らしい子供の唱歌、對話、暗誦、說教や牧師の說教それから贈物や菓子、御金等もあります

○龍山日本基督教會(漢江通) 七月一日午前九時日曜學校同午前十時禮拜說教『救靈の血淚』伊藤牧師同午後八時三十分傳道說教『十字架教』伊藤牧師

○メソヂスト教會日曜集會(旭町二丁目) 午前八時四十五分日曜學校同十時禮拜說教『鐵道論』藤原牧師午後八時三十分傳道說教『病人合一の意識』山口傳道師

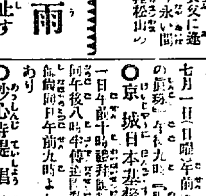
○聖公會日曜集會(南米倉町) 七月一日午前八時三十分日曜學校午前九時三十分聖餐式說教『新約』一色司祭午後八時晚禱傳道說教同司祭

○救世軍の集會 六月三十日(土曜)午後八時半百三十銀行前にて『眞の幸福』… 七月一日(日曜)午前十時半…永樂町にて『聖潔の眞髓』午後九時『野の百合を見よ』…

○京城日本基督教會(長谷川町) 七月一日午前十時禮拜說教『希望の生活』…牧師同午後八時半傳道說教『イエスの大膽』…同日午前九時より日曜學校に於て花の祭

○妙心寺提唱 臨濟宗妙心寺別院にては七月一日午前九時より夜眠瑞巖老師の大慈普…提唱あり尚ほ提唱後には茶話會を催し老師巡錫中の出張あり隨喜會員の多數來會を希望する由

其の日その日



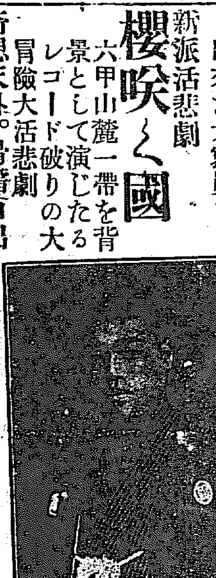
▲豚と玉菜の芥子和 豚肉を大切のまゝ茹でてその茹で汁で一枚づゝはがした玉菜の葉を茹でゆだつたならば取り出し二品とも細く薄切に切つておきます別に摺り砂糖を加へて更に摺り交ぜ酢にてよき程にのばしきさの二品を入れて和へますよく和へた處で煉り芥子を加へ好みで味噌を加減をいたします玉菜はあまり茹ですぎると却つて不味くなりますから氣が少し殘る程度にします

◎玉突遊戲場開設御披露
七月一日より開業致候間御散步旁御來遊の程奉希上候
午失禮當日ゲーム代無料
京城本町一丁目(元旭軒跡)
志賀乃家
阿原カツ

謹告
東京大相撲太刀山後援會に對し初日二日目共多大なる聲援を辱ふし奉深謝候不取敢紙上を以て御禮申上候
追而初日二日目に御入場無き方は興行中後援會入場券にて通用仕候間此段謹告仕候
京城本町三丁目(永樂町通)
太刀山後援會事務所
木村商會(電話一三六四番)

魚釣具及投網卸小賣
御申越し次第定價表進呈
遊船御案內
京城永樂町二丁目
吉備商會
電話三一四番 振替京城四三二八番

壹週年記念特別興行
奈良丸式活動寫眞 吉田奈良一口演
名優嵐離德出演
大石內藏之助
天下一品 山科妻子別れ 上下
天活會社の最近撮影の技妙を盡して出來た大寫眞なり
新派活悲劇 櫻咲く國
六甲山麓一帶を背景として演じたるレコード破りの大冒險大活悲劇
奇想天外。滑稽百出 チヤプリン皿廻し 全二卷
記念興行の爲特に値上せず
明日曜日晝夜開館
黃金館



資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千〇五拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
支配人 西村道彥
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

中島商店
(電話二五四番)

恩給年金
五ケ年分貸 金秘密低利 ナル事他ニ比類ナシ
申込者多數ニ付七月十一日ヨリ釜山、仁川、京城
出張希望者ハ至急申込アレ
名古屋市西區江中町二丁目 渡邊雜貨化粧品店

眼鏡專門 製作及輸入
京城府南大門通り二丁目 宮川大學堂
電話二九五九番 振替京城一二九番
▲各眼病院眼科醫用達指定眼鏡調製眼鏡一切に關する質問を歡迎す
▲明細定價表を發行致し居り候

★
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郞
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目
電話五八番 振替貯金京城一一九三四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

ビール의真味を解する方は
ビールの眞味を解する方は
擧つて本品を愛飲せらる
サクラビール
京城本町二丁目
神戶 鈴木商店京城支店

大學目藥

「內外各處に賞用せられ效能最も卓越せるは本劑なり」
●定價金十錢廿錢(郵稅二錢)三十錢(郵稅四錢)大瓶五十錢(郵稅八錢)●各地藥店に在り
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基づきし貴重なる製劑にして●はやり目●星目●トラホーム●のぼせ目●疲目其の外眼病一切に驚くべき治效あり▲十歲以下の小兒の爲めに別に小兒用大學目藥あり
大阪 合資會社 參天堂藥房 發行

明君道中記

第百九十二席　田邊南龍口演

藤堂宮所奉行井上倉次郎が城内へ引返し直に此の事を家老藤堂新七の許までに申し出る　新「松平長七郎君城下に滞在の由殿御在國なれば此の事を申し上げるのであるが御不在故其の事もならず、此の上は新七御出迎ひ申し上げて城内へ御案内をいたさん、一同の者供揃ひの用意をいたせ」並で藤堂新七は上下を着けて馬に打乗り大勢の家來を從へ城下本町常陸屋十兵衛方へ參りまする、常陸方では御家老樣がお出といふので

家内中總出で土下坐をする、新七は十兵衛に對ひ　新「コレ十兵衛當家に松平長七郎君御逗留の由藤堂新七が參つた趣を御家來まで申し達せよ」十「委細承知仕りました」奥へ參つて三宅宅兵衛まで申し通じますと、長七郎是を聞し召して　長「何に城内より新七が參つたと申すか」宅「左樣にございます」長「苦しうない此處へと申せ」宅兵衛の案内に從ひ藤堂新七御前へ出まする　長「オー新七か苦しうない近う／＼」新「是は駿府の御若殿樣に居らせられまするか藤堂新七にございまする、主人在國なれば御出迎ひをもいたすべきでござるが生憎不在、主人名代として新七御案内を仕れば是より城内へ御尊來を願ひ奉る」長「イヤ其儀に及ばん」長七郎は天下無敵の浪人藤堂家は天下の大諸侯、殊に不在とあれば遠慮もあろ。城内へ通つては相濟ぬ譯、予は當家に滞在をいたし居る故宜きに計へ」何と申し上げても城内へ御出がございませんから乃で據なく常陸屋十兵衛方を旅舘と定め、表は板圍にいたして面番所を造へ其處へ藤堂家より役人が出張つて固めて居ります、最も常陸屋方へは充分のお手當があつて他に客人を取らせません、粗末のおあつてはならんといふので充分の注意、藤堂新七を始め藤堂仁右衛門同玄蕃、榊原助右衛門木股土佐抔追々參つて御目通りをいたし御盃を頂戴する長七郎は豫て伊勢の大廟へ參詣をしたいといふ思召であるから此の事を申し聞けると、直に藤堂家より御司藤波石見方へ御沙汰となりましたから藤波は支度をいたして待受けて居りまする、長七郎の周圍を警護いたしたは藤堂家の役人彼是三十人ばかり藤波方へお出になりますると三日の間武運長久の大々高燈を上げまする、八十末社の宮眼りの神樂を奏しまする、夜になると山海の珍味を取揃へて馳走をいたす、下にも置かぬ樣にして待遇をいたす、長七郎は藤波方に御滞在になつて居りまする、内宮外宮參拜が濟んで是より二見ケ浦を御見物といふので藤堂新七が先に立て御案内をいたし二見ケ浦の岸へ棧敷を造へて其處へお出になりまする、御前には酒肴山の如く新七が御前に出て御待遇をして居ります、長七郎盃を擧げて二見ケ浦の景色を御覽なされたが實に絶景でありまする、此時長七郎　長「誰かある」宅「」長「料紙を持て」と仰せられる、宅兵衛が料紙硯を差上げると、長七郎筆を執て短冊へサラ／＼と認めた、

誰も見よ二見ケ浦の初日の出
　其心數ゆ赤き光を

と詠じて其の短冊を新七へお遣はしになる、偖藤堂家の者は皆水練が達者でございます、海陸兩道の旗頭といふのは陸が井伊掃部頭、海は藤堂大學頭、當今の海陸軍と云つた樣なものでございます、然らば藤堂家は海軍を司るものであるから平素家中の者は水練を心懸けて居ります、皆泳ぎは上手であるから水練を長七郎君に御覽に供へ樣といふので其のお催しがありました

花柳病　皮膚病　須古醫院　京城府明治町二ノ三二（元實業俱樂部跡）電話二一〇二番

内科　小兒科　院長　醫學士　森定吉　芙蓉醫院　京城本町三丁目瓦斯會社向側　電話二六二三番

うなぎ　龍山　松華　電話三二八番

七月二日

舊五月十四日乙巳　木命　四緑　閉　赤口

▲四緑●不覺を取る事有る日新事見合北方は吉路劔難▲五黄●壓りのつかぬ事有日新事手控へ事は吉一切のせわ事を慎む▲六白●平穩の日常の事は妨なし新事控目にせらるべし▲七赤●師佛の事か日新事手控へ事は吉買物に用心せらるべし▲八白●不善不惡の日なれども新事控へ疑なき日轉居防禦等皆吉殊に入組の事を剖目の方吉諸事農業は妨なし▲九紫●太郎成るに妙也▲一白●尻押の有日轉居入學金借名弘求職造船婚禮土木開負業等萬吉▲二黒●油斷大敵の日新事手控へ舊事は吉買物に用心せらるべし▲三碧●同、新多く物の成立することを見る萬事進て吉待人遠方より來る

演藝案内

京城壽町　電話七五八番　壽座

藝術新派統一節の主唱者宇都宮太郎氏來る　氏は藝術の方面より日選大聖人の御主義御人格を光揚せんことを發願し統一節なる創唱せる文學士宇都宮主計之介氏の高弟にて東都大劇場に於て大好評を博したるが今回滿鮮觀察の途次幸ひ當座に間に招聘致し來る六月三十日より七月一日迄二日間藝術統一可致候間萬障御繰合せ御來聽あらん事を

藝太之義人夫、浪花節なる表具文屋、常磐津、關八節とは巧に調和したるもの

▲會場壽座　入場料　行次第　廿錢均一　六月三十日、七月一日　午後八時開會

御成町　電話一一九一　御成座

▲六月三十日初日藝題　▲印は二番目役名

一、悲劇「母の心」
二、喜劇　女車夫

△曾生島越（石巻）△新聞記者坂口（西田）△姪江▲二尾妻ほさ子（春日）△刑事上村（川上）△和田繁子▲市田妻とん子（桂田）△野田初子（山田）△野本道夫▲合副長二尾（山岡）△野部閑部正▲車夫新助（藤田）△和田昌吉▲大熊三五郎（市川）△植木屋金六▲市田彌介（淺川）△下女おゆき（三島）△牧山利助（白川）△野木主人唯勝（須藤）△小役（森川）△野本唯吉▲三正太郎（須藤）△小役（小白川）

第一號　第三二號　人力車々體及附屬品
第二號　流込蠟燭　ゴムホース及タイヤ類
物品拂下廣告
右七月十六日午後一時京城税關出張所ニ於テ入札賣却ス
大正六年六月廿九日
仁川税關

告
在鄕軍人
二日午後七時ヨリ大和町憲兵隊集會所ニ於テ懇話會ヲ兼ネ小竹軍醫正送別會開催候條分會員ハ御出席相成度希望者ハ分會事務所ヘ（會費金五拾錢）當日正午迄ニ申込アリタシ
帝國在鄕軍人會京城分會

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛版
最も熟練せる技術を以て迅速と叮嚀を旨とし低廉に調製可致候
京城日報社寫眞製版部

櫻井町　電話八七三　大正館

日本活動寫眞株式會社京城代理店

▽六月廿五日より特別封切寫眞提供
○水中の大活躍△斯界の名優尾上松之助
○新派「南洲逸の油繪」△網島長寺壓迫治の出來
○舊劇「浪花の俠客」誰が袖音吉（全三卷）
山内吉左衛門之助幼にして實父に別れ漁夫に育てられ怪しい男出でし俠客となり怪力を以て聞き會を起し遠島に處せられて盜賊となる村民を惱ます山内左門に會し父子の名乗をなし俠客名治る一の大活劇
○滑稽活劇「テブ君の奮闘」（全二卷）
△大阪毎日新聞連載中△德川秋聲氏傑作
○家庭悲劇「誘惑」（全七卷、既にフヰルム
と夫の新派劇で大ならの本日新傑作れし美しき花貞子立に郎介と以下名な東京派が卒先大規模に撮影せ
なる努力により可きものを充分にせし期待せる [illegible]
△十五錢▽特等三十五錢二等廿五錢三等
（入場料其他中榮の……特等入場券御招待券御斷申候）

本町五丁目　稲荷座

常座本年一月興業に於て非常の好評を博した大阪浪花節泰斗竹川馬生一行る一大親友派巡行中今回内地へ歸途滿洲地方巡業の處當座に於て七月五日午後七時より再度開演致す事に相成候間前回同樣賑々敷御來車被下度此段奉懇願候也　敬具

京城壽町　電話一〇五〇三　壽館

巡業中の二代目桃中軒雲右衛門大一座近日乘り込み開演仕候

早川演藝部直營　有樂館　電話（階上）四九七番（階下）二〇五番

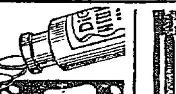
東京小林商會京城一手代理店
米國ユニヴァーサル會社特約

△三十日より六日間三大特選寫眞公開
△官營ユニヴァーサル週報（第三十七號）
△大活劇「壺坂靈驗記」澤市宅より谷底まで
●舊劇　京都小林商會最新撮影　市川岩老十郎一座努力劇（全二卷）
△米國ユニヴァーサル會社特作　世界的連續大寫眞●第六「紫の覆面」第十一編、第十二編（既に今回にて完結す） [illegible]
△伊吉（栗島お源（井上正夫）△お仙（葛城文子）
△井上正夫、お品（木下吉之助）

電話二六五三七　黄金舘

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店

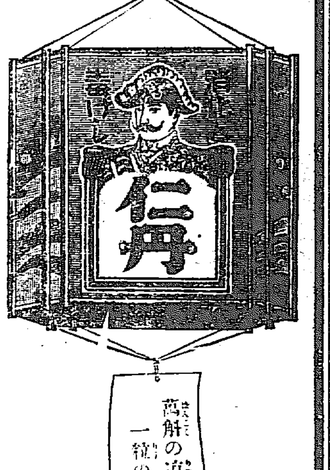
魔術大博士松旭齋天一總員六十餘名
一日より七日間毎日午後六時開演
▲世界的大魔術師松旭齋天一は靈に天覽の光榮に浴し第三回渡米研究
最も鮮かなる妙技を演す
▲モスコーオペラ座專屬露國男女優一行
▲大魔術奇妙の鐵箱を發見者には賞金百圓
▲金時計を進呈す
▲賞品は京城本町鐵居商店に陳列しあり
▲觀覽料特等一圓、二等七十錢、三等五十錢、三等
三十錢軍人學生小供各等半額
▲二、四日の日曜日に限り晝夜二回開演



胃腸最新藥　ヂゲスチン

日本歐米十三ケ國專賣特許
胃腸疾患、食慾不進、重病後の恢復期、營養補給の目的にて腸ノ疾患小兒の營養不良等に賞用せらる
常用すれば血液を増し精力を盛んにす
◎說明書送呈
東京本町　藥種問屋　合資會社　圓城商會

銚子港　田中玄蕃釀造
ヒゲタ醤油
代理店　櫻正宗發賣元　京城明治町一丁目　山邑京城支店　電話八四九番　振替貯金京城七五番



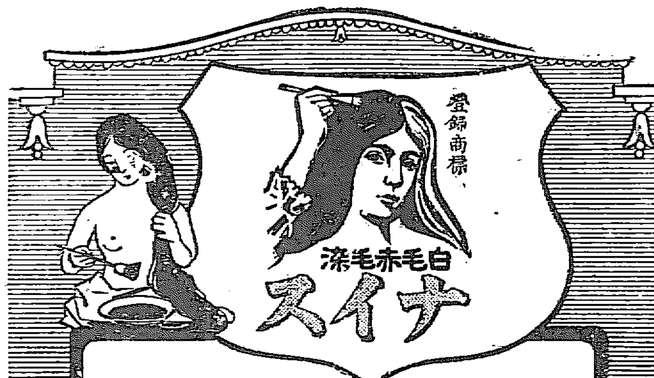
萬斛の涼味は一粒の仁丹から

● 暑さ日に増す

今日此頃は時候あたりや夏まけせぬやう誰方も早く仁丹の御用意が何より肝要です!!

金言

虚言を吐くものは時に眞實を語るも信を措くものは無からん（アリストートル）



態とらしい髪の染色は時代晩れで見苦しい

自然の黒髪の色艶に染る　ナイス　は今……!!大流行!!

ナイスの五大特長
■タッタ二十分で染る、
■自然の黒髪の色艶を保つ、
■襟、枕抔に汚染の惧なく、
■洗ふも剝げず永保し、
■用ひ方至極簡便なり。

實際多年白髪染を使つて見た方は種々ご數ある染毛劑の裡で、染色がよく、染まりが早いのは、此ナイスより外は無い、ナイスに限るご御愛用になつてをります。

大瓶　七十錢
價　小瓶　四拾錢
男子用　三十錢
發賣　大阪東京　丹平商會
全國洋外藥店に粧品店にあり

シラガ赤毛染　ナイス

醴泉金泉間自動車發着時間
上り一番　二番　下り一番　二番
[illegible]
金泉織居自動車支部
▲小荷物運搬も仕り候　金泉電話四八番

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行　第廿共同丸　七月一日前十時出帆
朝鮮總督府命令航路　六月廿九日午後入港
大連にて青島行定期船に接續致し手荷物及貨物通し運送取扱仕候
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）野口商會
仁川代理店　（電話二四四番）田口回漕部
元山代理店　南大門（電話二六八・二〇七）
京城取次店　河村運送店

朝鮮郵船出帆
本社電話長一九五二番三番
京城南大門前松原運送店（電話長一七〇番）
其他支店出張所代理店各港取扱店に御照會あれ

忠清丸	七月十四日	釜山着
京畿丸	七月二日	
柳川丸	七月九日	
成鏡丸	七月十九日	
總城丸	七月三日	元山發
三浦丸	七月 日	
鏡城丸	七月七日	
慶安丸	七月二日	釜山發
盛德丸	七月三日	釜山發
江陵丸	毎日	釜山發
襄陽丸		浦項發
昌平丸	七月七日	釜山發
海州丸 ○巨濟丸	毎日	釜山發
統營丸		
平壤丸	七月五日	元山發
順天丸	三日目毎ニ	木浦發
南陽丸	七月 日	木浦發
金海丸	七月七日	木浦發
金海丸	七月二日	木浦發
公州丸	七月四日	木浦發
麗水丸	七月三日	仁川發
晋州丸	七月九日	仁川發
宗信丸	七月 日	仁川發
全州丸　錦江丸	毎日午前	仁川發

切符發賣所　仁川京城通り　開盛館　電話二六一番
切符發賣所　内國通運合社京城支店　電話七〇八番

大阪商船仁川出帆

●神戸、大阪行　釜山東丸　七月十四日
油頭丸　七月四日後二時出帆
南部丸　七月二日
●神戸、大阪行　油頭丸　月　日後五時出帆
×木浦、釜山、原原、鎮南浦、長崎行　安東丸　七月卅一日　安東丸　七月十三日後二時出帆
○横濱行　漢陽丸　七月廿七日後二時出帆
南浦行　廣州丸　七月十一日正午出帆
●鎮南浦、大連行　安東丸　七月八日　安東丸　七月廿六日後二時出帆
●大連直航　廣州丸　臺州丸　月　日正午出帆
●西湖津新浦城津清津行（元山出帆）宮島丸　七月十日後十二時出帆
●清津行（元山出帆）安平丸　七月二日後十二時出
●上海、芝罘、打狗行（大連出帆）湖北丸　七月廿三日前四時出帆　基隆丸　七月六日後四時出帆

御注意　●印は連絡切符發賣仕候●印は船車連絡切符を取扱ひ候
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番二〇番五五八番

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽（天津）牛莊行
和泉丸　七月廿六日正午出帆
高砂丸　七月五日正午出帆
三河丸　七月十五日正午出帆
仁川海岸町　電話　回漕店

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
君が代丸　七月二日後四時出帆
大有丸　七月八日後四時出帆
秀吉丸　七月　日後四時出帆
神代丸　月　日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　杉回漕部

汽車 [illegible]
京釜線　京義線　湖南線　京元線

京城日報

京城講壇

日鮮同化と其促進策

朝鮮人の反省と内地人に望む

陸軍砲兵正領　魚潭

一

今更日鮮一家の史實を歴史に求め、日鮮同化の利益を世界の大勢より説かんとするが如きは、大正六年の今日に於て寧ろ時候遅れと申すべし。此度李王殿下には東觀の事あり、陛下には前古未曾有の盛儀を以て御待遇あらせられ、日鮮同化の範を垂れ給へるあり、又李王世子殿下と梨本宮女王殿下との御結婚の勅許ありて、日鮮一家の實を示されて居る。日鮮一家といひ、日鮮同化といひ、共に今日に於ては最早議論の時代ではない、如何にして之を實現すべきかの期である。如何にして最も自然に且つ完全ならしむべきかを考量すべき秋である。即ち實行の期に入つて居るのである。今や全く議論の餘地を存して居らぬのである。

近來東洋に於ける識者は學者も[illegible]「亞細亞人の亞細亞」を高唱せざるはない。古來白人は彼等自身を以て文明の[illegible]と自稱し誇負して居つた。所謂文明なるものは人類の増進に存じたのである。白人以外の人種は此文明増進に對する觀念薄弱なりとし、名を人道に藉り有ゆる迫害を加へ來つたものである。固より宗教上の立場より來心白人以外の人種に對して幸福の増進を圖つたものも決して少くはないが、彼等白人の組織する國家の對東洋政策は如何に在りしか、又現在如何に在るかと問へば、申すまでもなく、常に侵略占領に在つたことは三千年の歴史が證明して居る。而して現在の世界地圖は其結果を最も露骨に示して居る。殊に最近世に在りては歐洲の列國は獨逸皇帝の主唱せる所謂「黃禍の說」に共鳴して東洋諸國に望むこと恰も餓狼の兕を求め、鷙鳥の燕雀を逐ふが如き一般、唯だ彼等白人自ら口腹の慾を充せば足るといふの觀を呈して居る。東洋人にして十九世紀以後の東洋史を繙くもの誰か此言の異ならざるを斷言し得るものぞ。然らば文明を高唱せる彼等白人の現狀果して如何。思ひ半ばに過ぐとは眞に歐洲の現狀に非ずや。上述の如き世界の大勢に鑑みる時、吾人の考ふべきは東洋人の大團結である。小異を云爲するの遑無き事である。東洋人の一致協同によりて東洋の安寧を維持し、東洋人の利益を保護し、幸福の増進を圖ることは東洋人自らである。即ち東洋のことは東洋人自ら處理することである。是れ東洋モンロー主義である。[illegible]日鮮兩民族の如きは[illegible]其元に於て一に復歸[illegible]民族が此大勢に對して[illegible]大日本帝國の爲めに[illegible]日本帝國の爲めに、朝鮮民族の爲めに祝福せんと欲するものである。

二

朝鮮總督府が日鮮同化の促進に資せんが爲めに、朝鮮人の利益を保護し、[illegible]良なる慣習舊俗を保存せしめ、教育の普及を圖り、[illegible]施設を爲し、又法令を發布しつゝあることは一々其例を引くの煩に堪へない。此間に於て内地人には當局者が餘りに朝鮮人を保護するに偏すと爲して居る不平の聲さへ起ることもある。吾人の朝鮮人に[illegible]は此上もなきことで[illegible]誤解[illegible]痛くも無き腹を探らるゝ[illegible]氣の毒千萬で[illegible]島民族の大多數[illegible]此事を了解して居る。又一方に於ては[illegible]日鮮人が路傍に相反目する如き悲しむべき狀を脫して[illegible]鈴木氏と朴氏とは[illegible]其子弟は日鮮語混合の會話を[illegible]喜ぶべき現象と[illegible]吾等は吾等の子弟が普通學校に於て學び得たる國語を介して、老人婦女子が日本の風俗人情其他萬般の事物を傳聞し、幾多の疑問、許多の不可思議を容易に氷解しつゝあるの狀を見て、彼等が雲霧を排して星辰を望見するの感がありはせぬかと察するのである。總督府當局者の調査に依れば現在朝鮮人にして、國語を正則に解し得るもの約二十萬に達すといふことである、若し之れに小學校に學習したるもの、簡單なる日常會話を解し得るもの等を加ふる時は恐らく更に數十萬を算するであらうと思ふ。而して此の數字は全く最近數年間の出來事なのである。今後は更に年々加速度を以て此數字の増加を見るであらう。此結果は即ち日鮮人間の距離の短縮を意味するものである。

三

然し乍ら我に朝鮮人の立場よりして内地人に對して希望の筋がある。それは僅に一言である。即ち朝鮮に移住する程の内地人は是非朝鮮語を一語なりとも習得して欲しいといふ一事である。言語は思想を表現する唯一の機關である。朝鮮人の思想は朝鮮語を能くすることに依りて最も能く知ることが出來ると思ふ。[illegible]朝鮮人を救はんとせねばならぬ。[illegible]可能ではあるまいか、同じ理由を以て内地人[illegible]朝鮮語に手足の[illegible]と思ふのである。今假りに甲乙二人あり相去ること數歩の所に在り、甲乙二人相擁せんとす、其一人が進み來るを待つと、甲乙共に進み出て、會するとは其遲速何れぞや、其情味何れぞや。總督府當局者は官吏全般に對して、殊に人民と最も接觸多き官吏に對して、從來數次に互り朝鮮語習得の訓を發したと聞いて居る。吾輩は之を聞いて當局者の用意の周到なるに感じて居る。然し乍ら官吏の數には自ら限りがあるのである。若し三十餘萬の移住内地人が此心を持つたならば其効果は一層顯著であらうと思ふ。次第である。此說が唱道さるゝ所以であるが、内地人中の識者間に夙に此說は先して學修しつゝある人々もあるを知つて居る。又實際上の經驗より其必要を感じて修得した人々も少くないことを聞いて居る。されど多くは其必要を認めながら其日々を間に合ふて行く爲めに打過ぎて行くのである。有力なる某内地人は語つて居つた。吾等朝鮮人の立場より又實驗上より露骨に申せば、朝鮮人が如何に國語に熟達したりと雖も何處か缺點なきを得ない、此缺點は如何に努力しても全然除くことは出來ない、此場合に内地人が朝鮮語を解して、朝鮮人の國語と内地人の朝鮮語と相[illegible]を解せざる内地商人あり朝鮮人が國語を解し得たるが故に取引を爲し[illegible]内地商人が[illegible]便利[illegible]あり、大に利益を收め、内地商人が[illegible]朝鮮語を解せざる爲めに大なる不利を招きたりとせよ。第三者が常に冷静にして公平なる判斷を爲すものとせば、幸ひなるも多くの場合は然らず、其爲めに朝鮮商人が不正の好手段に依りて利得を得たるが如く誤解せられたりとせば如何。惡しき噂は傳はり易し。其影響は一個商人間の問題に止まらず、延いて日鮮同化の大目的に向つて一大支障たらざるなきを保し難い。吾輩は此所に至る時悚然として語らんと欲する所を忘るゝ。然れども言語不通の爲めに、如此は一大不祥事とせねばならぬ。互の感情を害して、利害共通して見相一致せる二者が却て其間に深き溝渠を穿つに至れる例は枚擧に遑あらざるべしと思ふのである。此所に至りて吾輩は内地人が朝鮮語に染むることは日鮮同化の促進上其効果の測るべからざるものがあることを知ると同時に、朝鮮人の國語を解すると、内地人の全然朝鮮語を解するとの相互に於て前者のみを正とし後者を反對の悲むべき態度を導き來ることを認めざるを得ないのである。聊か愚見を述べて大方君子の敎を請はんとする次第である。

冒險世界

七月號　定價十八錢
怪公爵（探偵小説）
遠洋航海
師ヶ嶽遭難の回顧
東京　博文館

翁印印刷インキ特賣品
石版活版用
壹圓五拾錢
金參圓也
三富商會

書繪畫用品
繪絹紙類各種
堀崎商店

少國民

第一號　七月號出づ
日本の少年諸君へ　アーネスト・スミス
土耳古の運命如何　文學博士
貯金少年（實話小說）　渡邊霞亭
黑狐（傳奇小說）　岡本綺堂
誰でも出來る相撲の手　横綱大錦卯一郎
二百年前の潜航艇　日高海軍中佐
其他興味津々○大懸賞の發表
定價一部十二錢
東京京橋南槇町　浩洋社

中元御贈答品賣出

七月二日より

七月一日は例年の通り店卸し勘定に付休業仕候

御手輕にして重寶なる　越の商品券
東京、大阪、大連、京城の各店共通
壹圓以上何程にても發行仕候

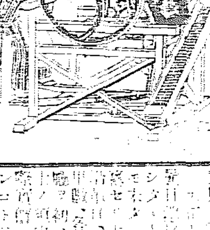
京城　三越呉服店

最新刊

大阪屋號書店

繭絲委託問屋
豊橋市　豊橋繭絲合資會社
電話（二〇）

精米麥機



東出物産製機界社

ペン字上手になる

補訂改版　實用ペン習字帖
ペン字の書方
ペン商業書式習字帖
ペン數學練習帖
發賣　京城　大阪屋號

進むべき道

文學博士　南條文雄先生著
忽再版
唯一途あり　徹底的修養
蜘手に似たる人生の迷路は希望の重荷を負て其險艱を踏破し突進邁往よく安心立命の境地に到達するの士は決して常の事にあらず南條博士は我等の爲に此迷路に立て惑はず進むべき道を指導せらる共透徹せる識見は人情の機微を穿ち興趣溢るゝ平談俗語は微笑の間に讀者をして知らずの一路を發見せしむべし。
賣捌　大阪屋號　京城日報社代理部

浮石轆門專
大和石轆製造所
京城府漢江通七番地
電話四一二三番
振替京城二九〇五番

▼朝鮮ノ行政區劃一覽▲
朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽
發行所　中央市場

第卅九回特別帝國議會

衆議院(卅日)

▲彈劾討議

二十九日の衆議院は現内閣彈劾案討議の當日とて謗憂の空に時々雨を交へ窓競場へ詰きに午前九時頃より早くも傍聴者は續々押し寄せ正午となれば傍聴席は勿論外交官席、婦人席等悉く立錐の餘地なく貴族院議員席に加藤憲政會總理の早くより打ち交れるは人目を惹きたり午後一時五分振鈴と共に開會今期議會に於ける緊張の極度を此の日に見せて議員席は殆んど定席を認めず大岡議長より議殿の報告の後武富時敏氏自席より日程變更の動議を提出し川原茂輔氏之に賛成し即ち日程を變更し尾崎行雄氏外九名の提出に係る建議案を議題となす此の時未だ各大臣の出席なく武富時敏氏本案は内閣の運命に關する重大問題なればとて首相以下の出席を求め暫くして寺内首相は閣僚を隨へて入場著席も愈々政戰の幕開かる武富時敏氏は憲政會側の拍手に迎へられて登壇未だ口を開かざるに早くも政友會、維新會の議席より罵聲起る

▽武富時敏氏 提案の説明を爲して曰く

『憲政の進歩は漸く政黨内閣の實現を見んとする折柄突如現内閣は議會に何等の基礎なくして出現したり吾人は現内閣が今日の時局に當り到底輔弼の責任を全うする能はずと認め嚢に吾人は第卅八議會に於て不信任案を提出したり然るに何ぞや吾人の言論を盡さゞるに先ち解散を奏請せり是れ實に立憲の本意に反するものなり而して政府は更に言論を抑壓し元老を攻撃する者を不敬罪を以て檢擧せり是れ累を皇室に及ぼすものなり又過般の總選擧に際しては反對黨を以て大權を干犯するものとし地方官をして其の旨記載の書類を各地方に配布し選擧に干渉せしめ反對黨に多大の打撃を與へたり』と逃ぶるや政友會、國民黨側より『大浦は何うした』『前内閣は何うした』と罵聲喧囂武富氏少時語なし武富氏更に語を繼ぎて曰く

『豫算は徒らに前内閣の編成を踏襲し折柄成立せんとしたる豫算を不成立に終らしめたるは其の罪現内閣にあり又た現内閣は對支對交を刷新すと標榜し内政不干渉を稱へつゝ支那内政に干渉し終に今日の支那政局紛亂の因を爲したるは對支外交の失敗を證明して餘りあり且つ外交調査機關を設置せるは憲法を紛淆し天皇輔弼の責任を他に轉嫁するものなり斯くの如く其經綸見るべきなく外交失敗を重ね責任の觀念缺如せる内閣は自ら顧て速かに處決すべし』と結びて降壇するや續いて國民黨の關直彦氏登壇す此の時憲政會側より『犬養は何故出ぬか』『出られないだらう』と大聲に叫ぶ者あり

▽關直彦氏 『本案には吾人は賛成を表する能はず勿論吾人は現内閣に滿足するものにあらず』此の時憲政會より『さうだらう』との罵聲起る『然れども重大なる時局に際し國策の遂行を期せん爲には區々たる感情を去り國家の爲めに現内閣をして之を行はしむるの必要あり暫く藉すに時日を以ってせざるべからず今日講和の時期に臨むに對し一朝國策を誤らば國家の由々しき大事なるを以て充分現内閣を監視し督勵するを要す殊に三黨首の會同に際し國防及び外交は政爭の外に置く旨を決議したるが本決議は如何なる内閣に對しても効力を有す故に吾人は此の主義に基き他に迄是が實行を期せんとす又外交調査會を設置せんとする際寺内首相は三黨首を集めて懇談せるが假令反對者の提案なりとて國策樹立國論統一に賛成するが當然ならずや吾人は絶對に現内閣に信頼せず又雖區々たる内情問題より國家の大策を誤るが如きは採らず故に本案には反對なり只今武富君は現内閣が選擧干渉を爲したりと言ふも前内閣の其れに比して果して如何選擧干渉に就て最も公平なる批評を爲し得るは憲政會にあらず政友會にもあらず我が國民黨なり』と酬ひて降壇するや憲政會の尾崎行雄氏は同志の拍手に迎へられて登壇す(一日午前四時十五分著特電)

▲附記 本電報の續きは電報輻輳不著に付き夕刊に掲載すべし(七月一日午前五時十分)

▲彈劾案否決

衆議院は内閣彈劾案に對し尾崎行雄、武富時敏、押川方義、島田三郎、下岡忠治五氏の賛成演説、關直彦、坂本金彌、中村啓次郎、鵜澤總明、林毅陸五氏の反對演説及び寺内首相、後藤内相、本野外相、松室法相等の辯明あり午後八時採決の結果百二十四票に對する二百三十四票即ち百十票の少數にて否決され同十分散會せり(東京特電)

◎粟玉蜀黍禁輸

關島にては七月十六日以後粟、玉蜀黍の輸出を禁止すべしと(元山特電)

◎宇佐美長官臨場

宇佐美内務部長官は鞭慶銅落成式に臨場すべく三十日午後四時五分著列車にて大邱に到著せり(大邱特電)

◎鳥取視察團著元

鳥取縣視察團一行は三十日元山に到著せり(元山特電)

◎對敵行爲と願書

京城府内に於ける敵國人の現住者は二十一戸二十九人にして現在業務として經營しつゝあるもの殆んど無きに至りたるが尚ほ貸家及び土地等の所有者尠からず即ち府内住民にして之等敵國人よりの借家若くば借地は對敵取引行爲にして願書を提出して其筋の許可を受くべき性質のものたる事言を俟たず然るに府内住民にして目下願書を提出せるもの只一人あるのみにして他よりの提出者なき現況を示せるが若し願書を提出せず許可を得ずして對敵取引行爲を敢てするものは三十日以下の懲役若くは百圓以下の罰金に處せらるゝ旨の規則あり對敵取引行爲者にして願書未提出の者は此際至急提出するを要すべく尚ほ願書の樣式其他詳細なる事項は直接府當局に就き承合せらるべし

◎組合豫算内容

京畿道管内京城學校組合外三十一學校組合の大正六年度歳入出豫算總額は四十一萬四千百六圓なる事既記の如くなるが其内容を聞くに左の如し

▲歳入經常部

賦課金	二十萬三千五百三十四圓
授業料	七萬零九十四圓
墓地火葬場使用料	七十圓
居場使用料	一萬二千八百五十七圓
督促手數料	一千八百六十一圓
財産收入	三萬四千七百五十七圓
其他の收入	七百四十六圓
計	三十三萬三千九百十九圓

▲歳入臨時部

繰越金	二萬零六百二十三圓
寄附金	七千百四十圓
國庫補助金	五萬五千九百六十一圓
地方費補助金	一千百二十一圓
其他收入	五千三百四十一圓
計	九萬百八十七圓
歳入合計	四十一萬四千百六圓

▲歳出經常部

事務費	二萬三千五百七十八圓
會議費	一千三百七十一圓
教育費	二十六萬一千三百六十三圓
墓地及び火葬費	六十九圓
居場費	一萬零十一圓
其他支出	三萬七千零四十四圓
計	三十三萬三千四百三十六圓

▲歳出臨時部

寄附及補助	一千五百圓
組合債費	二萬六千五百二十八圓
其他支出	五萬二千六百四十二圓
計	六萬零六百七十圓
歳出合計	四十一萬四千百六圓

以上にして前年度豫算に對比すれば總額に於て五萬三千九百五十一圓を増加し總組合戸數二萬三千七百八十六、此の人口九萬零九十四人を算す

◉市場繼續經營

京城府内に於ける市場の經營は目下總て私營に屬し居れるが府當局にては豫て之を府營に移さんと夫々調査計畫する所あり現に府は大正六年度歳出豫算臨時部に於て府營市場設備費として一萬圓の積立金を計上したる有樣なるが未だ其の實現には至らず而かも從來私營として營業を許可されつゝある京城魚市場及び京城日丸水産株式會社市場は先年五箇年間の契約にて市場の經營並に營業を許可されしものにして既に本月十五日を以て滿期終了せしを以て當局にては此際繼續經營せしむる事と爲り今般繼續經營業期間は之を大正七年十二月三十一日迄とし其の間京城府に於て同樣の市場を經營せむが爲め三十日以前に豫告を爲したる時は期間内と雖も其の經營を廢止する事を條件として右記二市場の經營並に營業の繼續を許可せりと云ふ

◉向露貨物取扱改正

寛城子經由南滿東清及び日滿聯絡運輸規則により東清鐵道線に到著する貨物を露國鐵道に轉送の臨時規則其の後左記の通り改正せられたり右改正によれば同規則の二の事項は全然不要となれり即ち荷主は貨物轉送の申込をなしたる後其の任意により發送順序の來る迄哈爾賓驛に其の儘貨物の保管を依託するか又は一旦之を引取り發送の際更に同驛に持込むことを得るものとす哈爾賓驛に於ける右保管料は高率なるのみならず目下同驛の現狀によれば滯貨多く完全なる倉庫に貨物を保管する能はず上屋倉庫又は屋外に堆積せらるゝこと多きを以て荷主は之に起因する損害を防ぐため一旦貨物を引取る方有利なりと

◉米國銀行家の朝鮮観

日本人は犧牲を除ける獨逸人に似たり=總督政治の成功= 監獄の施設頗に驚嘆すべし

ハッチンス氏の感想

入京中の米國ナショナル商業銀行副頭取ハッチンス氏一行の露國行き要務は單に露西亞の經濟狀況の視察にあると稱し居れど氏等の主宰する銀行は邦貨換算五千萬圓の拂込資本と十億近き預金を擁する米國屈指の大銀行にて其の財界に於ける勢力は偉大なるものあり宛も今日は遣露米國特使ルート氏の滯露中とて何等か氏の向露用務中には重大なる米露兩國間の經濟的問題を含み居るべしと揣摩する者あり氏は稀に見る博覧強記の實務家なるが其の入鮮以來の感想二三を叩くに曰く予等は

▲釜山驛頭 に於て偶然李王殿下の御歸京御乘車を奉迎するを得たり而して李王の御發著に際し内地官民の町重熱誠なる歡迎は恐らく母國人として舊韓國皇帝に捧ぐる最上の御待遇ならんと思はざるを得ざりき這は日本内地と朝鮮を問はず殆んど甲乙なき如きが如斯李王殿下に對する母國民の御歡待は新附同胞の融和上最上の方法と云ふべく又最も賢き處置と観るを得るなり、釜山の概觀京釜沿線の展望並に京城市中の視察より推すに朝鮮の發展は意外に進捗し居れり之れ總督政治の成功にして恐らく此調子にて進まば二三十年後の朝鮮は非常の發展を來すならん日本人の事業日本人の政治等を視察すれば其の秩序的事務的經濟的なる點に於て犧牲を除きたる獨逸人に酷似せる如し其の殖民地の施設に於て殊に然り日本が

▲朝鮮の開拓 に成功するは故なしと云ふべからず、予は廿八日京城麻浦監獄を案内者の困惑する程精細に觀覧したり蓋し監獄は一國の文野を卜するバロメーターなればなり而して其の結果茲にも日本が朝鮮の施政にいかに注意しつゝあるかの活例を發見したり予は必ずしも同監獄が建築の堂々たるものあるため此の言を爲すに非ず獄内を見て第一に感じたるは非常に清潔なり灑掃は快き程隅より隅に行き屆けり第二に獄内の監理は驚ろく程整頓せり第三に諸設備の完成は充分なりと云ふも決して過言に非ずと信せられたり思ふに前述三個の點に於て京城麻浦監獄は米國の何れの監獄に比するも優越せりと斷言するに躊躇せず殊に其の典獄の三井氏は

▲司獄の職 にある實に前後三十年の永きに亙ると聞き其の獄舎内の整備の故なきにあらざる事を知る氏の如く長年月を司獄官としてよく勤續せる人は世界にも其の比儔少しとて多からざるべきかと云々

◉日支聯絡貨客取扱方

日支聯絡運輸團體旅客及び手荷物取扱手續左の如く定め來る七月一日より實施すべしと

第一條 日支間を旅行する團體に對しては次條以下に定むる條件に依り左の通り賃金割引を爲す

▲十人以上の團體に對しては普通賃金の二割五分引▲二十人以上の團體に對しては

▲普通賃金の三割引

第二條 團體割引は鐵道院線朝鮮鐵道局線又は南滿洲鐵道線の何れかより出發し同上鐵道の何れかに歸著するか又は京奉線京漢線津浦線又は滬寧鐵路の何れかより出發し同上鐵道の何れかに歸著する往復又は周遊旅行にして左の經路に依る場合に限り之を行ふ

一、往復共日支旅客聯絡運賃の經路

二、片途は日支旅客聯絡運賃の經路に依り他の片途は左の航路又は鐵道經由

上海、青島、天津(大沽)又は大連と日本の間の航路、大連と上海、青島又は天津(大沽)間航路、青島、上海間航路、棧子江[illegible]船航路[illegible]

▲濟南府間鐵道

第三條 前條線鐵道線上の相互間日鮮滿聯絡團體乘車券の取扱に對し現に行はるゝ五割引及び附添人四割引乘車に關する本規定の團體聯絡取扱は第一條第二項に依り本規定のものとす依つて日支聯絡鐵道の往復共鮮滿經由のものに之を適用せらるゝものとす

勿論片途を天津青島[illegible]に依るものは二十人以上の場合には鐵道院及朝鮮局線内一、二、三等南滿洲鐵道線内一、二等に限り普通賃金の五割引とす

第四條 團體乘車券は日支旅客聯絡運輸の聯絡驛及大驛にて發賣す

第五條 (省略)

第六條 團體乘車券有効期間は二箇月とす

[illegible]

◉交通指導標建設

京城街路施設物整理委員會にては今般交通整理上の必要に由り市内街路樞要の地に交通指導標を建設するの件を決議したるが右理由は京城市内の發展に伴ひ漸次交通頻繁を極むるのみならず朝鮮に於ては内地に反し右側を通行する關係上内地よりの來鮮者は内地同樣の心得を以て歩行する等警察官の指導のみにては整理容易ならず而して先年來電柱を利用し鐵板指導標を掲げ居るも位置の關係上之を見るもの少なく殆んど其の效なく依つて歩行者の眼前に目睹し得る位置(人道と車馬道の境界線)に於て丁字路或は十字路或は其の一端必要の箇所に『歩行者の通行は人道の右側』を表示せる交通指導標を建設し尚人車馬道の區別なき所に於ても通行頻繁なる本町筋の如き箇所は『右側通行』を表示せる指導標を建て警察官の指導取締と相俟つて之が整理を全からしめんとするものなり昨年京城府にて衝突墜落等の事故に由り負傷せしもの百四十四名死亡したるもの二人にして其原因は車馬を操縦する者の不注意にも由る事なれ共歩行者の不注意に因る者も尠からずと

◉約手支拂場所打合

京城商業會議所にては去る二十六日商業部會を開催し約束手形の支拂場所を銀行に一定する事を決定せるが此の委員會の決議に基き來る七月三日午後二時京城府内、內地人商人の主なる者を同所に招致し右約手の件に關し打合せを爲す筈なるが委員會は右決議の主旨を徹底せしめ之が實現に努力すべし

◉蠣石採取許可

全羅南道珍島郡鳥島面に於ける山地は從來蠣石の産出多きを以て有名なりしが右は今回同郡府内面居住崔一郎氏の出願に由り本年六月より大正十一年五月迄五箇年間に三萬五千切即ち一箇年七千切宛の採取其筋より許可ありたるが右蠣石は總て工業用材料に使用するものなりと

◉出稼鮮人貯金額

五月中威鏡北道成津及び淸津に上陸歸還せし者及び陸路慶興に歸還せし出稼鮮人は總數三百十二人なるが是等鮮人の貯金總額は三萬六千三百九十二圓にして一人當平均八十四圓なりと

人事消息

▲松坂健一郎氏(伊藤長鑛山部長) 柑山夜汽京
▲吉田忠太郎氏(藤田組社員) 同上
▲鈴木四郎氏(三井鑛山价川主任) 同上
▲加藤隆作氏(古川合名社員) 同上
▲松岡直温氏(鑛業家) 同上
▲飯島純介氏(古川鑛山社員) 同上

南言北語

も一度政界に出るとか出ぬとか世人からは依然疑問視せられて居る大石入道の近况を聞くに▲入道此頃政治よりは黄白に親み千餘圓で買入れた中野の宅地はもう少くとも十四萬圓になつた▲今後五年も經つと二十萬圓には必ずなると過ふ人等に算盤の桁を彈いて見せる▲而して其の算盤から割り出した房州の沿岸に五千坪と云ふ大地面を買入れ新築を起工し▲別に廿人乘の小舟を建造して若し政談でも持込む者があると▲呵々大笑して寸前は暗だマア五湖に棹して風月を樂むのぢやナと陶朱公を氣取て居るとか▲其れで收れば結構だがナアと噂する人もある▲濱田副議長の事を此間鳥渡書いたが▲まだ斯う云ふ成功談がある▲青年時代は伊勢内宮の邊に名代の赤福餅の水汲みをやつて居た▲其頃から見處があつたと見えて今の人即ち其の餅屋の女中頭を主人が嬰した▲其れから學校の教師になり東京に出て苦學し辯護士になつた▲其の學資供給者の中には松坂の藝妓もあつたとの事▲金剛山の有名な萬物相の奇岩には重石がある此の評判だが▲彼の支那の赤壁の奇岩怪石は總て良好な赤鐵鑛である▲相な鑛業家中には既にから之れに著目して居る人もあるが▲何分支那人の墳墓が多いので鳥渡でも手を出さうものなら大變だから未だに誰れも手を出さぬと▲併し斯う云ふ歴史ある名所は成るべく保存したいものだ爆薬でドンドンやつた日には地下で東坡も泣くのだらう

◉大阪より

▲鮮航賃値上 近時船腹不足の爲め[illegible]浦は遞信[illegible]くべく協議中なるが釜山亦約三四割方引上を決行すべき意[illegible]調査[illegible]道尹に命じたりと

▲大連行運賃値上 大阪商[illegible]地の土地區域營業所等詳細[illegible]

▲雜貨八圓五十錢(定期船)九圓二十錢(自由船)▲棉花大俵十二才迄一圓十錢(自由船)一圓[illegible]▲[illegible]▲砂糖、古新聞、果物、石材、石灰、セメント、煉瓦、スレート其他四十錢又は千五百斤八圓(定期船)[illegible]

[illegible]四割方引上げ七月一日出帆船より實施する事に決定したるは既報の如く大連線及び釜山仁川航路[illegible]と爲したり(大阪支局)

◉埼玉縣下

[illegible]しく各地養蠶農作物被害激甚なり[illegible]損害高目下取調中なり(東京電報)

[illegible]兵庫警察署にては目下嚴重に警戒[illegible]大阪[illegible]

婦人畫報

七月號 食後のお茶うけに

▼七月號 静物畫の第一人者[illegible]

二報 三畫 ▼六姫宮殿下の御近影

▼旅情の流露

▼旅行の思ひ出

▼避暑地の○日やけ法

○家を新築して○消夏

▼美人傳しくれ ▼家政日記 ▼流行のシャムの子供服 ▼山に居て

○ふみ殼 ○歌の作りかた

○和宮樣 ○夏向衣類調度

長篇小說 須磨子

東京京橋銀治橋外 振替東京四九〇〇番 東京社

御問屋

銘茶

京城永樂町二丁目 菊園 長電話一三四二番

井上藤兵衛 振替京城三六九番 (御申越次第直段表送呈)

朝鮮總督府編纂 朝鮮林野分布圖

著色八度刷美麗鮮明一部九枚筒入 定價金參圓 郵稅 朝鮮金拾貳錢 內地、臺灣、樺太、支那 金三十錢

朝鮮空前の大地圖林農鑛業家及研究家各種學校の參考備品として絕好無二の必要品

賣捌所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

各宗佛檀、各宗珠數、各種位牌 金襴打敷地、各種線香、沈香薰香 佛具一式、各種漆塗、金銀箔押 並に佛檀洗い修覆再建入念に可仕候

各宗寺院用達 佛具調進所 京城本町二丁目七七、花月前 小倉佛具店 電話一五七一〇 振替京城三九五二

咸北の小金剛「七寶山」

江原道の金剛山の奇勝は其名夙に世上に喧傳するも咸北の小金剛と稱する七寶山は之れを知る者極めて罕なり余頃日同山を跋渉す今玆に其勝景を略記して未だ遊ばざる人に示さむとす

○○○○○松田學鷗○○○○○

小金剛の稱呼

咸鏡北道明川郡上古面に聳ゆる七寶山（海拔八百八十米）を中心に東は寶村、北は深造洞、西は檀、南は玉臺峰に亙る幾隔にして約十方里の地を包括す

陸路と海路

汽船よりせむとせば大良化港（朝鮮郵船會社寄航地）に上陸して七里の險路を通過するか然らざれば中坪（前外船寄航地）に上陸すれば僅に半里にして勝地の門口とも云ふべき寶村に達すべし、陸路よりせば明川邑内より約七里、黃谷（憲兵派遣所所在地）より約三里半あり道路は歩行容易なり

風景の槪觀

小金剛の風景は金剛山に遊ばざる余に於ては彼れと比較する能はざるも曾て踏破したる豊後の耶馬溪、石見の斷魚溪等に勝る事數層なり只溪流の小にして淺きは遺憾なりとす而して風景は金剛山と等しく花崗岩及び玄武岩の風化浸蝕作用に歸因するものにして山峰の奇巖怪石は簇立して天を摩し溪淵の斷崖絶壁多種異樣の形容を呈し雄大に壯嚴に幽邃に奇峭に實に造化の靈妙を極む而して七寶山頂に登らむか一眸の裡に萬景を集むるものなれば其壯觀は言語に絶せり山中唯一の伽藍たる開心寺の附近には下馬臺、望海臺、金剛窟、三浮屠、兜率巖等の勝あり、若し其れ望海臺上に吸嘯せむか、東坡が所謂腋下生風の槪あらしむ、開心寺より内院洞、柯田、栢洞、露積洞、露積峰、五佛峰、千佛峰を経て寶村に至る溪間凡五里、萬獅峯、硯滴峰、露積峯、滿月臺、龍湫巖、甞膽巖、倉庫巖、羅漢峰等無數の勝景相迎ひ相送る雲霄々として雨ならむとし水淙々として煙を生す丘巒乍ち崩れ洞門忽ち開く其間の風光一々之を譬ふるあたはざるなり

七寶山の傳說

七寶山の名稱について傳說あり曰く『上古七山あり並峙せしを以て七寶山といふ中古以後六山海に沈没し今只其一山を存するのみ』と此說信據すべきや否や余は七寶の稱は佛經中より採しものならむと思へり七寶を阿彌陀經にては金、銀、瑠璃、玻璃、硨磲、眞珠、瑪瑙をいひ、法華經にては金、銀、瑠璃、硨磲、眞珠、玫瑰、瑪瑙をいふ蓋し往…

巖と庵

余曾て成島柳村氏の朝鮮名勝詩選中の七寶山の記事に寺院昔寺院の叢建とともに山名を附せしならむ茲に最も面白きは此七寶の稱は近來鑛山熱に浮されつゝある者の流涎す所にして金銀珠玉の含蓄あるものと思慮し既に幾多の採鑛者山中に出入せりといふ余や只七寶中に因みある玫瑰花の深紅の色艷麗に溪路を擁して咲き亂れ芳香衣袂に薰ずるを到る處に見たるのみ

採勝の時季

此地の勝を探らむには岩石の奇異の狀を觀るは主眼なるを草樹の未だ緑を生ぜざる晩春か然らざれば萬疊錦を染むるの秋を可なりとせむ山中の採勝には二日を要すれば十分ならむも近く溫水坪に巖澗より奔瀑をなす炭酸質にして透明なる溫泉あり採勝を兼ねて之れに浴するも妙なるべく然らば盛夏の候も宜かるべし殊に夏季は咸北の海波穩かにして船便に賴るも平安なればなり

風景莊嚴七寶山○空王所宅異人家○金銀珠玉我無用○只踏雲霞惣句還○

山中に只開心寺あるのみ記して後の遊者に告ぐ名を記せるものを見ても何々庵と稱するもの多きを以て山中處々に寺あるものと思ひしに豈料らむや鮮音庵は巖に同じきを何々巖といふ可きに何々庵として寺の如くし誤を世に傳へたるものなるを知れり

神に型取つた人間の形躰保存

總督府醫院に整形科が設けられた

◇不幸な不具者のために◇　院長　信一氏談

私は整形外科で取扱ふ疾病に就て其大略を御紹介したいと思ふのであります、一體世間で不具とか畸形とか申して居りますのは大別しますと（一）先天性畸形即ち生來不具者例へば兎唇及び猿蹠即ち（三つ口）指趾畸形即ち四本指六本指等或は内翻足即ち足が内方に曲り足蹠が上の方を向いて居る之れは

▽子供が歩行

し初めると足背を地につけて歩行するのです、其の高度のものは歩行時に丁度馬の足のやうに爪を地につけて歩むから内翻馬足といはれて居ります『先天性股關節脱臼』――之れは股關節が生れながら脱出したのですが之れは歩行時に跛行します大抵は起立及歩行期が普通の子供よりおくれるのであります、生れつき

▽跛行と稱す

るものは多くこれです其他上肢下肢の彎曲並に缺損或は脊柱異常彎曲佝僂病性等の畸形等が種々あります（二）分娩の際害による小兒の畸形此れに數へるもの、中で最も多いのが斜頸即ち首傾です（三）後天性畸形即ち生後外傷又は病氣で不具となるものを數へるのですが此の外に扁平足（俗に『カナベラ』足と申して居るものです）は

▽二十歳前後

の起立して就業する者に多く工業の發達と共に罹病者が多くなる傾向があります、之れは足脊下脚等に疼痛があり高度になると腰部までも疼痛を覺ゆます併し二三日仕事を休めば治るが又仕事を始めると出來なくなる程痛む故に『ナマクラ』病だといふ人がある位

▽主なるもの

です。皮膚及び筋肉の外傷は主に一般外傷の方で取扱ふのです。病氣の中では運動器系統即ち骨關節及び神經筋肉の病氣例へば脊柱の彎曲を形成する即ち側彎前彎及び後彎症（猫脊等）或は脊椎骨の一つ二つが崩潰して瘤となる椎骨瘍し之れは椎骨の一部が後方に突出し著しき

▽畸形を形成

するもので諸種の關節の病氣即ち關節炎及び關節炎後の強直之は病後に骨と骨とが癒著して動かなくなるか或は又軟部が動かなくなる爲めに起ること〔も〕あります筋及び神經の痲痹を來す

病の其内では小兒痲痺――之れは小兒が突然熱發し頭痛或は嘔吐等を訴へ三四日乃至は一週間位で之等の

▽急性症狀は

輕快しますが其後に起立歩行が出來なくなる病氣です。又外科的に外傷及び病氣の爲めに手又は足を切斷したる後に義手、義足をつけるとか數へ上げると澤山ありますが今回は略しまして畸

▽異常の體形

を矯するものゝ爲めに其豫防及び治療を目的とするところでありまして前にも申しました樣に外科の一部で外科から專門的に分れたものに外ならないのです（をはり）

形を見てお話し申ます要するに整形外科とは世にも不幸なる不具者及び不具と申程でなくとも

東京大相撲

＝二日目＝

場内は唯白扇の波　大喝采の初ッ切

▲土曜日ではあり好天氣の事とて三十日の午後は更に入りが多く各棧敷共滿員となつて場内は白扇の波、時も已まぬ盛況、相撲も見物も大分油が乘つて活氣づいて來た

▲此の日の餘興は本社が番外お好みとして出した龍ケ瀧小嵐の初つ切と愛嬌者の若島と紅葉川の一番であつた

▲龍ケ瀧に勝つた小嵐が大喜びで踊りながら歸つてゆくと支度部屋の惡戯者が手拍子を打つて囃したてたのも愛嬌

▲決勝五人拔で散切頭の若虎が美事に五人を倒すと西棧敷から飛び出した印絆纏の男、若虎の後ろへ廻つてその尻を扇で煽いだ末小旗を振つて土俵を踊り歩いた

▲三日目の番外には本社の番外お好みとして土州山清瀨川の一番及び幕下連中の飛付五人拔き等がある筈で賑はふ事であらう

▲徴兵檢査のために一行に加はらず東京に殘つてゐた太刀山部屋の有望力士、大打洋、太刀光、金の鯱、太刀洋外十四名が三十日の晩著京したので三日目からの取組は愈々面白くなる事であらう

勝	負	勝	負
嗚の海	虎ケ谷	秩父嶽	鶴の野
石狩川	大木嶽	太刀勇	八ツ山
琴ノ海	値賀嵐	綾瀬川	金時
友綱	二ノ藤	若虎	本龍洋
土佐崎	五ノ島	玉ノ浦	三國山

△中入後

太刀ノ波　浪花山　鞍ケ嶽　若ノ戸
登浪山　小松濤　鶴ノ京　相ノ海
若太刀　和合浦　甲斐山　太刀ケ峯
太刀ノ海　女鶴　若嵐　若熊
軍扇　室戸崎　龍ケ瀧　遠州洋
四國洋　友ノ山　筑後川　友渡り
矢筈山　骨根松
國見崎　小嵐　荒玉　太刀嵐
土州山　清瀨川　黒瀨川　太刀島
伊勢ノ濱　敷島　太刀山　紅葉川 若島

右の中▲小嵐は國見崎の右差しにて下手投を打ち寄り倒して勝▲荒玉に太刀嵐は立上り荒右差にて四ツとなり太刀の下手投を殘し其儘寄切て荒玉の勝▲土州山に清瀨川は立上り土州右差にて相四ツとなり寄るを清瀨は正面德俵まで押し詰められアワヤ土俵を割らんと思ひしが清瀨巧みに廻り込み反對に寄れば土州十俵際にて乗鉢の下手投を打ち同體に落ち軍配は土州に上りしも物言につき預り▲若島黒瀨川は黒瀨の右差となり若島より寄るを土俵に打棄つて黒瀨の勝▲伊勢濱に敷島は立上り相四ツ敷のよろを伊勢の無雜作に殘し吊り出して伊勢の勝▲紅葉川に太刀山は立上り突合ひ突き出して太刀の勝

◇大相撲スケッチ

船體全部を灰色に

日本郵船歐洲就航船の塗色變更

獨逸潜航艇跳梁甚だしきにより日本郵船會社歐洲航路就航船は武裝備砲のみに信賴するを得ざるに至り發見を避くる爲め船體全部を灰色に塗替へる事となれり（東京電報）

早大野球團京城に來らん

野球試合の爲め滿洲各地を巡訪すべき早稻田大學野球團は三十日正午嘉義丸にて神戸を出帆せるが同野球團は大連にて滿鐵野球團及び實業團と各三回の試合を爲し次で旅順工科學堂の野球團と戰ひ更に奉天、長春を轉戰して朝鮮に入り京城に於て一二回の試合を爲す筈（大阪特電）

農民二百餘名の騷擾

主謀者は各懲役六箇月　忠北滿州郡北一面井下里農金用培（三）朴在先（三）韓春三（二）吳賢錫（三）崔正（三五）書堂敎師金鍾洛（三）等は同面の揩竹洑の關係者なるが昨年十二月四日京城居住の洪晏喜なる者が外二名の者と北一面金根洙方に至り洑の水税取立に從事せんとしたるに元來該洑は同里農民の共同所有と思ひ未だ一回も水税を出したる例なきより前記の者等が主謀となり洪晏喜の所爲は甚だ不當なりと稱し數十名の部落民を煽動して三名を包圍して亂打負傷せしめ謝罪狀を提出せしめて一段落を告げしに洪晏喜等は翌日更に井北里崔化方に逃れ再度水税を集金せんとしたるより之れを聞知したる前記の者は大に憤り直ちに襲撃し集まりたる部落民二百餘名を煽動して再度三名の者を毆打脅迫し擾罪として過般公州地方法院の公判に附せられ各懲役六箇月の判決を受けしが何れも不服として京城覆審法院に控訴せり

醫科大學看護婦同盟休業

帝國大學醫科大學以下附屬病院看護婦七十九名同盟休業を企て何れも免職となれり（東京電報）

元山より五百尾の鮮魚を東京へ

元山より三十日冷藏貨車二輛にて約五百尾の鮮魚を東京に向け發送せり（元山特電）

人夫二名溺死

廿八日午前十一時頃平壤柳町九山牧場にて土砂採取の爲所有の艀舟に高野仕佐（四〇）盤川與吉（四）金錫範（六三）朴元成（三〇）の四名が乘込み電燈會社前面の羊角島より過量の砂礫を積載して大同江の中程迄漕ぎ出せし時船の動搖にて忽ち河水浸入して間もなく沈没し四名は水中に陷りたるが與吉及び朴元成は直ちに泳ぎ上りたるも水泳を知らぬ高野と老人の金錫範は遂に溺死したれば警官等驅付け一時間許り人工呼吸法を施せしも遂に蘇生するに至らず死體は關係者に引渡せり

本夫を殺害

（平北江界郡城干面梧元洞李萬基妻金姓女（一八）及び同人方居住妾河淳（二八）の兩名は關係したる末本夫李萬基を殺害したる事件は此程新義州支廳にて公判開廷檢事は兩名に對し死刑を求めたり（新義州）

少女負傷

龍山漢江通り鐵道官舍居住小學生槻矢やす（一二）は二十九日午後六時二十分頃京城黃金町二丁目電車停留場附近を通行中石材を積める荷馬車に觸れ左足の中指に輕傷を負ひたるより本田醫院に應急手當を受く馭夫は目下取調中

京日案内

普通五十錢　一回前金　番外一回前金（匿名一圓増）

▲市込後中途掲載中止の節は返金せず　▲六回以上の御申込は特に割引　▲御照會は返信附にあらざれば回答せず　▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通

◎代診看護及看護婦見習採用　希望者は履歷書送附ありたし　平壤泉町　齋佐病院　207

◎生後三ヶ月男子御乳有る方に預たし希望者は通知又は來談ありたし　京城本町四丁目櫻井町入産婆石橋　209

◎市内不動産擔保低利金融　京城明治町二丁目六十三番地（月本商店前入）山田　184

番外

外務社員招聘　履歷書携帶每日午後二時より四時迄の間來談あれ　明治町二ノ五六　東條　198

汽鑵及搗鑛機賣却　汽鑵廿五馬力搗鑛機杵數廿本杵重百五十磅望の方委細御照會を乞ふ　慶北善山郡玉城面九鳳洞　吉尾　193

店員　年齢十八九歳より二十五六歳迄の者至急入用　但し確實なる保證人を要す　仁川新町　津田兄弟屋　187

◎はねつぎ　うちみくじき　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　206

鑛物各種分析　太平町二丁目二二六（電話二八二三）遠藤看油店向側入る　松永分析所　200

◎朝鮮語科　◎英語科　新學期三ケ月修業　各級補缺募集　南大門通漢城銀行向ひ　京城青年會　192

年金恩給　低利最長期即時立替　全額秘密證書確實保管　商品陳列舘表門前下角　▲京城永樂町一　江州屋本店　166

恩給年金長期即時立替　勸業債券（五分利）額面以上特別高價買受銀行爲替付受放賣之好期不可逸　京城若草町百六番地電話二千十一番　西村商會　154

胃病良藥　ホシ胃腸藥

特約店　京城府太平通二丁目三〇五　キムラ藥房

定價　10, 20, 30, 1円　東京南傳馬町三　星製藥株式會社　各地藥店にあり

夏期活用號　學生　七月號

新井白石　主幹大町桂月

▼冒險第一か安全第一か　▼諸君の歸省を送りて　▼本牧の海岸　▼登山の秘訣　▼夏休の利用　▼海水浴に適否の體育法

◎魚釣哲學　◎血でかいた自傳　◎誤字の牽防　◎海と日本人　◎受驗者腦力養…　◎英文若…

▼受驗の演習　英、漢、數、國文、歴史、物理、六科目に對する六大家　▼大懸賞投票募集　世界第一の物

定價十錢　一册十錢　共六册六十錢　一ヶ年一圓二十錢

東京　冨山房　振替一〇五

朝鮮滿洲　汽車汽船　旅行案内　七月號出來

手紙上手に成るには

講義　親切丁寧にて判り易く何人も纏まめ成り手紙上手となる。

講師　佐々博士大町桂月先生外學者二十有餘名

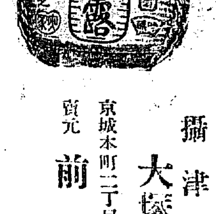
●六大特典あり●入會の最好機會なり　●添削無料　●一ヶ年卒業（會則見本無料進呈）

大日本書翰學會　東京市芝區愛宕下…

最新書翰講義録を讀まれよ

攝津灘　大塚釀造所吟製　金露

賣元　京城本町二丁目　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番



花がたみ（四一）

松田竹の島人作

鬢でお豊は、鑵詰を二個と、ボールの菓子折とを持つて來て、京子の前へ置いた。

『乾と召上り物に御不自由遊ばしてらツしやるだらうと存じましたから、福神漬と味付海苔を持つて參りました。』

『そりや什麼も有難ふ。』と京子は輕く頭を下げる。

『奥樣は、岡野の最中が御好きで居らつしやいましたから、少しばかし取つて參りました。』

『然うお館から、種々貰つては氣の毒だわ。』

『什麼致しまして、……何んでございます。奥樣、妾だつて此位のものは買つて參られますよ。』

『そりや然うだらうけれど、矢張り氣の毒だわ。』

京子は、召使の者から、縱令大したものでないに爲ろ、土産を貰ふことは氣の毒でならなかつた。

其處へ雇ひ婆さんが茶を入れて持つて來た。お豊は甘茶を飲みながら

『奥樣、妾は旦那樣から御暇が出たのでございますよ。』

『什麼してさあ。』と京子は眼を瞬る。

『腹が立つて腹が立つて仕樣がないんでございますよ。』

『何にか然う腹が立つの、暇を出されたことなの？。』

『そりや奥樣、召使つて居らつしやる旦那樣が、妾を御氣に召しませんならば、暇を御出しに爲るのは當然でございますけれど、暇を御出しに爲つた原因が、癪に障つてならないんでございますよ。』とお豊は言葉に力を籠めて宛も口惜しさうに言ふ。

『什麼いふ理由で其麼に癪に障るの？。』

『實は斯うなんでございますよ』とお豊は膝を乘り出して、

『貴女樣が、鎌倉の御別莊から、何處にか往つて御了ひに爲つたでせう。妾は何處に往らつしやつたんだらうと心配しいしい、毎日々々御歸りを其麼に御待ち爲たか知れませんでございますよ。御姿を御隱し遊ばすなら妾にだけは、何んとか仰つて下すつても可さゝうなもんだと、實は御恨み申したんでございますよ。』

『什麼も濟まなかつたわね。』

『然う許つて戴くと恐れ入りやすが、四日經過つても御歸りがないもんでございますから、妾は心配でなりませんで、旦那樣へ、御知らせ申したんでございますよ。然うすると、旦那樣が直ぐに往らつしやいまして、妾に穢なのことを御訊きに爲るんでせう。呆れるぢやございませんか、旦那樣は御自分が御道樂爲さるのは棚に上げて、貴女樣に情人でもあつたのぢやないかと御訊きに爲るんですよ。』

これを聞いた京子は、厭やな感じが爲た、自分が無斷で姿を匿したのは惡るいけれど情人があるとは爲ないかとは、餘りだと思つた。

『お前は、何んと言てくれたの？。』

『彼の御堅い奥樣に、其麼淫猥なことは決しておありにはなりません。永年御連れ添ひ遊ばして居らつしやる旦那樣に、奥樣の御心の中が、御解りになりませんかと、構はず申上げたのでございますよ。』

『然うすると、旦那は何んと仰つて？。』

『仕方がないもんですから、唯然うかつて仰つた切りでございますよ。』

『それから什麼して？。』

『奥樣が御別莊に居らつしやらないと爲ると、妾へ東京へ歸れと仰つて旦那樣と御一緒に、歸ることに爲りましたが、旦那樣には、呉個に呆れて了ひました。御別莊の留守を彌吉老爺の女にさせると仰つて老爺と彼の女を御呼びに爲つたのでございますが、什麼でせう奥樣、彼の女が、粉屋の泥棒見たやうに、眞白に白粉を塗つて、精一杯艶飾し込んで來たぢやございませんか。』

一日一句

夜のもの日向に干す藤の花　鳥兎

椿が肩に麥稈帽子落ち　黄丘

蛙鳴やめば隣の赤兒啼く　魚骨

熱ありし昨宵の兒抱く春　潮村

新刊紹介

▲新日本（七月號）開國進取の教育方針を論ず（末廣博士）戰時の國際社會黨（田中萃一郎）革命後の露米提携（大庭柯公）帝國外交の危機（小川平吉）問題の支那（志田博士）等の論說を初め研究、觀察に付現代の文化に對する疑義（北昤吉）北屋を開いてから（逸話）野技さんの歩かれた道（平塚らいてう）外交調查會と其人物及隱れたる天下の奇勝なる題下の名作物、長田幹彥、江見水蔭其他の文士の創作を列擧し小說には與平の貞さん小劍の旨逝が載れたのご編み數む（二十八錢東京麹町內幸町一ノ五北社）

▲新家庭（七月號）森田久彌の月見草は十二色刷の優麗なる石版畫にして其他三色版、石版畫、寫眞版等數十葉如何讀物には夫に先づ卜聖安さ之與へよ（竹越三郎）私の主張する節夏法（矢島楫子）眞の寵愛の良妻賢母となるには（與山春子）等の外姑から迎た嫁は人樣々の經驗談にして修養と數譚とに資すべき好讀物なり其他室內裝飾、育兒、料理等に關するもの數種及小說には長田幹彥の「ゆく春」北島春石の「巡禮」歌あり當夏の好讀たり（三十錢東京芝公園地九玄文社）

▲面白俱樂部（夏季增刊號）武田仰天子氏の『前田殿藏坊』本田美禪氏の『斯んな男』前田曙山氏の『大艱盤行』江見水蔭氏の『平助捕物語』塚原澁柿園氏の『飛行さ件』渡邊霞亭氏の『岡野左內』伊藤みはる氏の『鈍金猪』村田柴香氏の『一休頓智記』等奇人、快傑、捕物を揃へ來りて、その頓智、その滑稽、その諷刺、その皮肉、或は歷史小說に、或は新小說に、或は新講談に、或は笑話に、其他逸話、奇聞、珍談、綺聞等好話を博するこゝ必定（本號に限り二十錢東京市本鄉區駒込坂下町四八講談社）

▲婦女界（一家經濟號）如何なる家計が特に主婦の主腕を要するか（都河主幹）婦人に關する時事問題の評論（鳩山春子）節約を計るも亦修養なり（河田嗣子）何が物價騰貴の原因か（添田博士）家運を開く家政の執り方、佐藤賢照）等諸大家の論說の外に物價騰貴に苦しん

▲講談俱樂部（夏季增刊號）前田曙山の「御殿女中」の長篇講談、等は安僞生活の經驗等八錢人の貞節的の痛切なる經驗談を滿載せり、尚五錢人の夜具に就ての苦心の經驗談なも載せ柳川春葉の家庭小說「世間」は益々佳境に入り讀者の熱狂的歡迎を受け居れり（特價二十錢東京牛込加賀町一ノ廿四共社）

▲入文（七月號）宗敎の人間的要素（內ヶ崎作三郎）等論說の外（深村榮次郎）江戶三味（笹川臨風）其他十四錢東京小石川白山御殿町一一七博學會事務所）

▲獨立公論（六月號）在布日本民族の歷史的發展、改造を要する日本人會、布哇宗敎界の管見等在布邦人狀況に關するもの（十仙布哇キャンベルブロック共社）

▲フースヒー（三九）（五錢東京府下澁谷一二二共社）

▲東洋皮革新誌（六月號）（十錢大阪東區內淡路町二の七七共社）

▲大日本新聞（三三九）（五錢東京麹町有樂町一の四共社）

讀者の領分

▲京城府の衞生實行部に沒取りに來てくれと何回も電話で交涉したがなかなか取りに來て吳れない人夫の不足か知らないが此の間へるのもい〻氣持のものではない（西小門の官舍）▲此頃は夜も暑いもので深更迄寢もせずクダを卷く醉ひの朝鮮人が騷ぎ廻るには全く睡眠不足から神經衰弱に陷る虞れがある交番警官の巡廻を望む（不眠坊）▲京城市中でも赤痢や腸チブスが出初めたが何でも腐れかゝつた果物と生野菜とが元で發病した者が多いさうな（愚家の隣）▲今年徵兵檢查に相當し幸にして檢查の結果甲種合格と決定し國家の干城たる軍人に籍を措き得るは不肖等の大に欣喜に絕へざる處に御座候然し之を以て入營出來得るものと滿足致し漸く抽籤の結果を一日も早く發表せられん事を受檢者一同を代表し御願申上候（合格代表者）▲此頃某會社の集金人中には往々主人の留守中に來て手續等の事を譯も解らない女や兒供にガミ〳〵食て掛り近所合壁も憚らず橫暴な言を吐く奴があるいくら會社でも商事を目的とする以上今少し穩に說明しては如何だろう（憤慨生）▲僕が先日內地から來た友人を案內して景福宮內の博物館を見物に行つた處靴拭が置いてある故一同靴を拭いて上らうとすると守衞が橫柄な態度で靴をぬいで吳れと云ふ不思議に思つて居る處へ西洋人が來た見て居ると皆靴履ので上つて行つた守衞にあの西洋人の靴はなぜぬがせないのかと尋ねると先生一向平氣であれは西洋人ですから特別と云つたので我いたなせ日本人が靴で上つては惡いか我々の靴も西洋人の靴も同じであるしかもゴム底である西洋人の面前で日本人を辱しむるもので有る（新歸朝者）

道廳會議室に於て吉松第一部長統裁の下に開會進行中なり▲慶北蠶業總

一、二分ノ一止水栓　外三點
右賠償スル詳細ハ六月三十日以降ノ朝鮮總督府官報ニアリ
大正六年六月三十日　京畿道

朝鮮語會話

朝鮮總督府通譯　普成法律商業學校講師　西村眞太郎著　第四版

定價金八拾錢　郵稅四錢

受驗者必携の資料袖珍總クロース四百餘頁頗美本
本書は第二版に於て動詞、形容詞の大增補を行ひ嘖々たる好評を博し偉大なる賣行を示したり、爾來三版は瞬く裏に賣盡したるを以て、茲に更に大々的增補を斷行し、副詞の適譯百種及最近試驗問題解等を載せて、愈々第四版を發賣するに至れり是非速に一本を机上に備へて愛讀せられんことを希ふ

賣捌所　京城日報社代理部

朝鮮諸官廳受驗叢書

京城專修學校敎官　安達大壽計著

▲受驗必携　朝鮮六法要論　全一冊
▲朝鮮諸官廳受驗者必携　朝鮮行政法規大意　全二冊
▲朝鮮諸官廳受驗者必携　會話譯文速成　全一冊
▲高等普通學校敎員受驗者必携　作文軌範　全一冊
▲朝鮮語官吏受驗者必携　法律問答　阪上綱吉著　全一冊

本受驗叢書は專ら朝鮮に於ける諸官廳試驗問題に就て提出せられたる各種受驗者の爲に極めて適切明確なる事項は勿論…（以下細字）

賣捌所　京城日報社代理部　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番

恩師乃木院長

學習院敎授　小笠原長生序文　服部他助新著

四六版四二〇頁乃木大將肖像及著者撮影寫眞版數葉挿入
上製總クロース金文字美本　定價一圓八十錢並製定價八十五錢　郵稅各八錢

青年子弟德性涵養の良典範　學校職員育英薰陶の好指針

發行所　東京市京橋區日吉町　振替口座一三一〇〇　民友社
賣捌所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部
取次所　京城本町二丁目　振替京城二四五番　大阪屋號　嚴松堂

賣捌所　京城日報社代理部
取次所　大阪屋號、嚴松堂、京日各支局

診察時間

初診の御方は可成午前中　自午前九時至午後六時

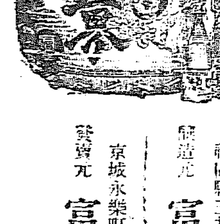
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院　電話八一二番

開業廣告

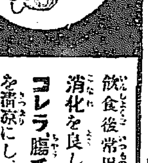
外科　花柳病　皮膚病　專門

京城旭町一丁目（更科本店裏日の丸市場側）
外科皮膚科　牧醫院

優等清酒



福岡縣三井郡山川村　醸造元　富安本店
京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店　電話二一〇番　振替口座四三九番



清心丹

自衞の為の懷中要藥

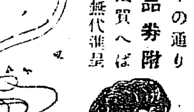
飲食後常用せば胃腸を健全にし消化を良し、不良飲食物中毒、赤痢、コレラ、腸チブス、の豫防となり、口中を清涼にし咽を潤し氣分を爽ならしむ

船車、飲食物等の醉、頭痛、眩暈、嘔氣、腹痛、下痢、中暑、の應急藥

東京日本橋元大坂町　高木與兵衞　振替口座東京四六八

安住かとりせん香

登錄商標



天下一品　年々益々好評
内外各博覽會金牌受領

一晩使つて效力にビックリ
二晩目には安いこ感服
三晩四晩で人にも勸る
大好評

例年の通り最品券附
拾函買へば壹函無代進呈

到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す

大阪北區富田町　住大藥房　振替大阪二六四〇　番二九ニ

最上醤油

朝鮮仁川府
高杉醤油釀造場

汽船釜山出帆廣告

○○門司、神戶、大阪行　和歌浦丸　七月十二日後五時出帆
立神丸　七月廿三日後五時出帆
○○元山、淸津、浦鹽行　和歌浦丸　七月廿二日後十時出帆
立神丸　七月十一日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行　第三琴平丸　月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　月　日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天眞丸　毎月二日九日十六日廿一日廿六日（十四）午後十時出帆

釜山港埋立新町　本部取扱店　大池回漕部

大邱浦項間自動車時間

上り　一番　二番
下り　一番　二番
浦項發、興海同、安康同、慶州同、阿火同、永川同、河陽同、大邱着

大邱本町七丁目　電話一二七番　大塚農場自動車所　大邱出張部

醴泉金泉間自動車時間

上り一番　二番　下り一番　二番
金泉發、尙州發、咸昌發、龍宮發、醴泉著

小荷物運搬仕り候　金泉電話四八番　金泉織居自動車支部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行　第廿共同丸　六月廿九日午後入港　七月一日前十時出港
關東都督府命令船

朝鮮鐵道主要驛にて荷物を取扱ひ大連にて滿鐵各驛と連絡し荷物を取扱ふ
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）

仁川代理店　野口商會
元山代理店（電話二四四七番）田口回漕部
南大門（電話三六〇・二〇〇七）河村運送店
京城取次店

朝鮮郵船出帆

○忠淸丸　京畿丸　柳川丸　咸鏡丸　門司より釜山各港寄港（七月十四日、二日、九日、十九日）釜山發
○穩城丸　三浦丸　鏡城丸　元山より各港經由浦鹽行（七月三日、七日）元山發
○慶寶丸　釜山より元山行　七月二日　釜山發
○盛德丸　甘浦、九龍浦、浦項各港寄港蔚山行　七月三日　釜山發
○江陵丸　襄陽丸　長生浦方魚津甘浦九龍浦寄港　毎日　浦項發
○昌平丸　甘承浦、鎭水、巨文島、濟州島各寄港　七月七日　釜山發
○海州丸、紀營丸、濟州丸　各港經由木浦行　毎日　釜山發
○平壤丸　城津清津浦鹽行　七月五日　元山發
○順天丸　各港寄港甘浦行（三日目毎に一回）木浦發
○南陽丸　各港經由麗水行　七月　日　木浦發
○金海丸　各港經由濟州島行　七月七日　木浦發
○金海丸　吉多島、群山經由　七月二日　木浦發
○公州丸　各港經由　七月四日　木浦發
○麗水丸、晋州丸　各港經由大漢江行　七月三日九日　仁川發
○宗信丸　海州經由鎭南浦行　七月　日　仁川發
○全州丸　錦江丸　江華島經由海州行　毎日午前　仁川發

本社支店出張所代理店及社外船と連帶せる代理店荷客取扱店に御照會あれ
京城南大門通　松原運送店

切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　開城旅館　電話二六一番

尼崎汽船仁川出帆

○君が代丸　七月八日後四時出帆
○大有丸　七月二日後四時出帆
○吉丸　七月　日後四時出帆
○秀代丸　月　日後四時出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶行
仁川港町　杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○相模丸　七月廿六日正午出帆
○大連行、太沽（天津）牛莊行
高砂丸　七月五日正午出帆
三浦丸　七月十五日正午出帆
仁川港町　郵船回漕店

大阪商船仁川出帆

○臺東丸　神戶、大阪行　七月十四日
△南部丸　七月四日
△油頭丸　七月二日　後二時出帆
×神戶、大阪行　月　日後五時出帆
×木浦、釜山、鎭南、馬の河、長崎行　安東丸　七月廿一日後二時出帆
×安東丸　七月十三日
△福州丸　七月廿七日　後二時出帆
×淡水行
△臺東丸　月　日　正午出帆
○大連行
×安東丸　七月八日後二時出帆
△漁州丸　七月廿六日
△福州丸　月　日正午出帆
○西湖津新浦城津清津行（元山出帆）宮島丸　七月十日後十二時出帆
○淸津行（元山出帆）安平丸　七月二日後十二時出帆
○上海、其陸、打狗行（大連出帆）湖北丸　七月廿三日前四時出帆
基隆丸　七月　日後四時出帆

御注意　◎印は荷客取扱ひ　△印は荷物取扱　×印は一時間前迄に乘船を要す

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一二番、二二〇番、五五八番